

文 画



Komichi

小平市立小平第二小学校



一 広野に光 流れ満ち

富士の嶺清く 夢を呼ぶ
ゆく雲と鳥 思いのせ
あこがれ遙か 舞いのぼれ

二 すくすく伸びて 空慕う

木々の木末を そよがせて
さやかに通う 風、運べ
よろこび燃える 若い歌

三 むかしの跡を つたえ継ぎ

息吹き新たな 小平の
希望のあすを ひらくもの
かがやけ 第二小学校

～ 記念行事 ～

～ 小平二小史 ～

～ 二小今昔 ～

みんなの夢を乗

子供たちのメッセージカードを付けた600個の風船は



ふうせんに
メッセージ
カードを
つけます♪

ふうせんが手から離れた時
子供たちも先生方も
気持ちが一つになりました。



飛び立つ時を
ゆらゆら揺れて
待っています。



せて青空高くへ

空高く舞い上がり、風に乗って日本中へ飛んで行きました。

全国の方々から100通以上の
心温まるお返事が子供たちへ帰っ
てきました。



今日の昼休みにクラスの子が拾ってきた手紙を見てびっくり!!なぜかという二小は私の母校です。12kmも離れた学校の校庭にひらひらと舞いおりてきた手紙を、二小と縁の深い私のクラスの子が手にしたことにととても感激し、39人のお友だちも大喜びしました。

～所沢市立安松小学校6年担任の先生より～

〇〇君は6年生で卒業の年ですね。これからはいろいろな事にチャレンジしてください。

～JR東日本東京新幹線車両センター 男性より～

(風船の切れ端とメッセージカードが同封されており、)大人になってこれを見た時、子どものころの映像が現れます(タイムマシンになって)。そして生きる勇気に満ち溢れ大いなる翼となるでしょう。

～葛飾区 男性より～

開校80周年おめでとうございます。自分も風船飛ばしをやったことがあります。今まで忘れていましたが、〇〇君の風船で思い出しました。日々忙しく生活してる中で久しぶりに心温まる出来事に感謝しています。幼少の純粋な気持ちを思い出してまた明日から頑張ろうと思いました。ありがとうございました。

～東村山市 30才会社員より～

80周年おめでとうございます。私にも子供がおりますが、残念ながらこのような節目の行事に参加することができませんでしたので、二小の80周年の節目に参加できたことをうれしく思います。

～女性より～

将来は、パイレーツオブカリビアンジャックスパロウになりたいと書いてありましたね。その様な人になって弱い人を助ける強い人になってください。すてきな将来を祈ってます。

～練馬区石神井 男性より～

開校80周年おめでとう
平成20年6月
※開校80周年を記念して
風船を飛ばしました。拾われた方は
お知らせください。ありがとうございます。
小平市立第二小学校
〒187-0042 東京都小平市仲町310
Tel 042-341-0033
http://www.kodaira.ed.jp/
ozkodaira/
この風船は天然ゴムで出来ていますので
いずれ土にかえります。



平成20年8月2日読売新聞多摩版より

80周年 風船600個
■小平 今秋に開校80周年を迎える市立小平第二小学校(原田美知子校長、児童数540人)でこのほど、記念式典が開かれた。各学年が同小の歴史を調べたり、地域のお年寄りなどから発表。50～80歳の卒業生3人から当時の話を聞いた後、全児童が校庭に出て「小平よさこい・和おどり」を元気に踊った。
ハイライトは、地域住民や学校ボランティアも一緒に行った風船飛ばし。PTAが600個の風船を用意し、「80周年おめでとう。拾われた方お知らせください」というメッセージと学校
のメールアドレス、住所を印刷。子どもたちはそれぞれ、将来の夢や希望などを書いた札も付け、空高く舞いさせた。
ほとんど長崎県佐世市の23歳の青年から電話があり、みんなびっくり。秋田や千葉、茨城県などからも「すごいことやりましたね」「おめでとう。夢を実現してください」と次々に連絡が入った。近隣の東久留米市や練馬区、埼玉所沢市などからも手紙が届き、約3週間103件に入った。
南側校舎2階廊下には、<ふうせんついたらよ>のタイトルで、大きな日本地図と表が張り出されている。
原田校長は「日本中に、これほど大勢の嬉しい方がいるなんて」と感激。PTAの石橋真純さんは「心こもった返事は、子どもたちのいい思い出になるでしょう」と目を細めていた。
(今井美代子)

600個の風船が一斉に空高く舞い上がった
読売新聞社の許諾を得て掲載しています。

風船に添えて飛ばしたカード

80's
年組

サッカー選手になりたい
ジャック・スパロウになりたい
ピアノの練習をがんばっています
外国まで飛んでいくかな?

航空写真撮影

5月1日(木) 児童のデザインをもとに作られた80周年記念の航空写真撮影が行われました。



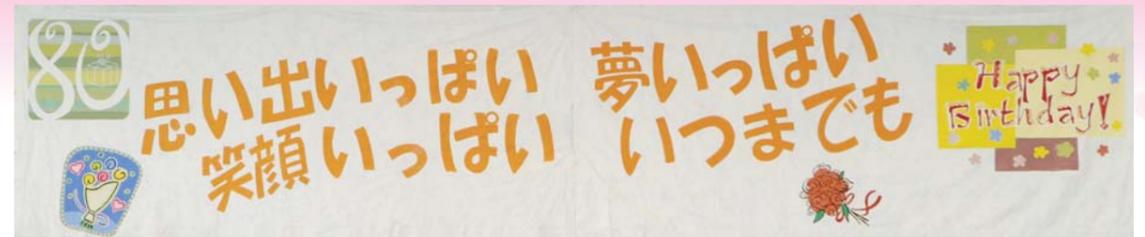
写真提供 (株) フォトスタッフ

「飛行機が来た！」

色とりどりのエプロンを広げた子供たちが、ドキドキしながら空を見上げます。撮影は学校の上空を2回・3回と旋回してあっという間に終わりました。翼を左右に振ってバイバイをする飛行機に子供たちの緊張もほぐれ、手を振り歓声をあげて遠ざかる飛行機を見送りました。



80周年記念児童集会



6月27日(金) 80周年記念の児童集会が行われました。各学年の発表や昔の話、全校児童のよさこい、そして最後に600個の風船を飛ばしました。



児童の手作りプログラム



卒業生のお話



全校児童の二小よさこい



朝から多くの方々の協力で準備が整いました

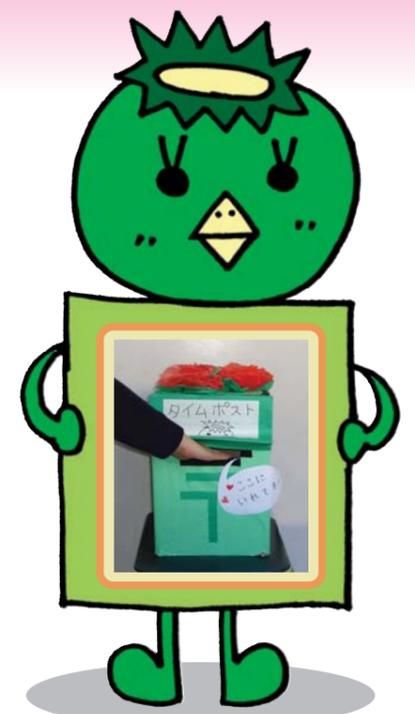


600個の風船が大空へ



なつかし給食 献立はソフト麺ミートソースとミルク、そして冷凍みかん

タイムポスト



10年後の2018年、投函された葉書はみんなの家へ配達されます。

80周年記念式典

数多くの方々にご列席頂き80周年記念式典が体育館にてとり行われました。

平成20年10月25日(土)80周年記念式典及び祝賀会がとり行われました。小林市長をはじめ、市の関係の方々、他校の校長先生や本校歴代校長先生、二小を支えてくださっている地域の方々が出席してくださいました。本校児童は5・6年生が代表として参列しました。



小平市 市長 小林 正則 様 小平市議会 議長 小林 秀雄 様 小平市教育委員会 委員長 伊藤 文代 様 本校 原田 美知子 校長



80周年記念祝賀会

記念式典後に記念祝賀会が開催されました。



祝賀会は鈴木囃子の太鼓と笛の音で始まり、80周年のお祝いにふさわしい幕開けとなりました。



本校卒業生の川合さんご兄弟のヴァイオリンとお母様のピアノの奏でる素敵な音色に会場が包まれました。



声楽家山田さん親子による素晴らしい歌声を披露いただきました。また旧校歌の合唱も行われ、楽しい時間となりました。

開校80周年記念祝賀会次第

～オープニング～
鈴木囃子

- 開会の言葉
- 実行委員長あいさつ
開校80周年事業実行委員長 小川俊一
- 来賓祝辞
小平市教育委員会教育長 阪本伸一様
- 乾杯
本校PTA会長 麻田常広

～アトラクション～

- ヴァイオリン演奏
川合優子・公純・修治
- 歌唱
山田大輔・昌子・洋子
- 校歌
- 謝辞
本校同窓会会長 並木文雄
- 三本締め
本校学校経営協力者 海上玲子
- 閉会の言葉

80周年記念祝賀会

記念式典後に記念祝賀会が開催されました。



ふるさと資料室

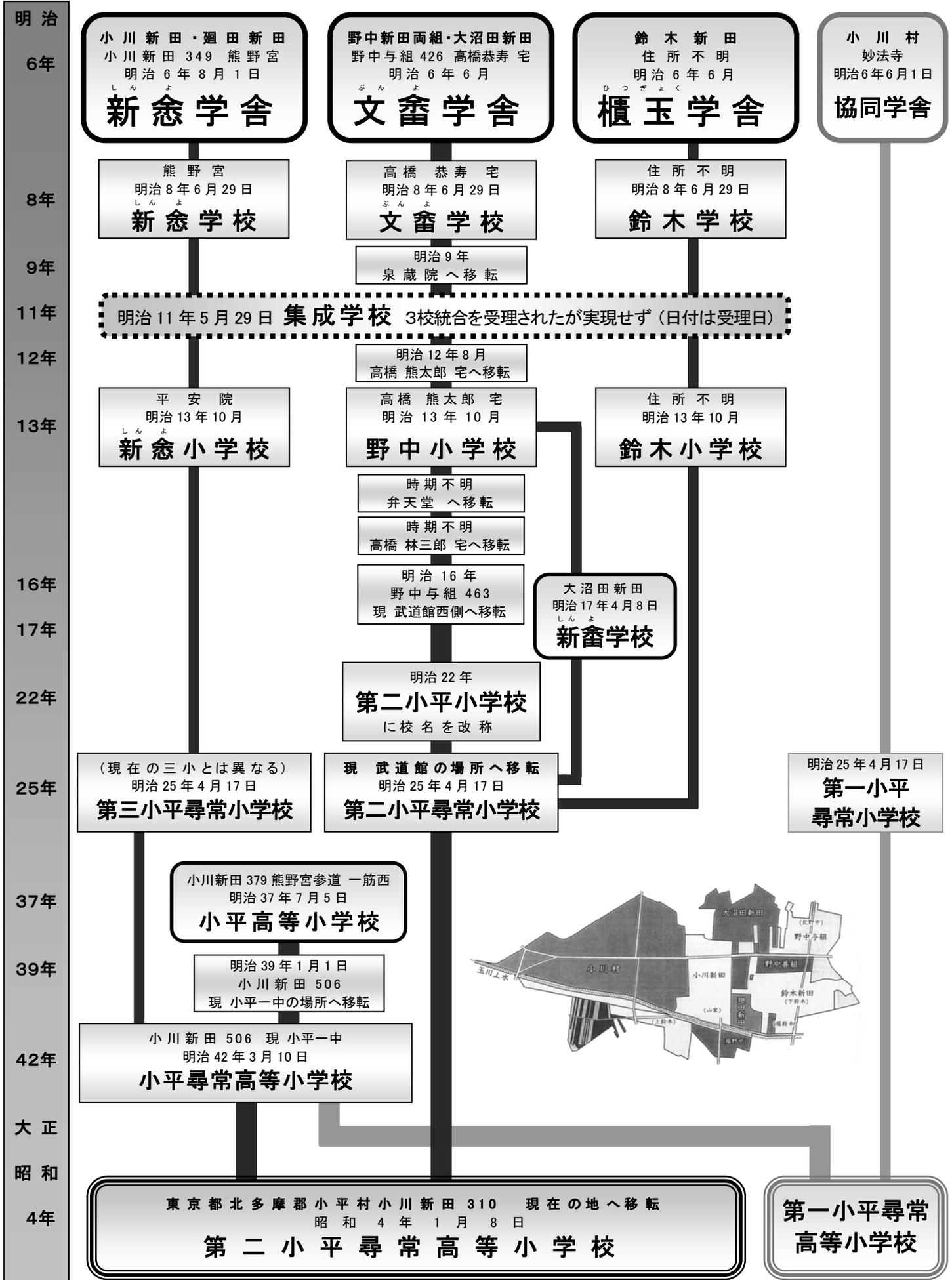


したじき



創立から現在まで

明治6年～昭和4年



昭和
4年
8年
16年
22年
25年
32年
37年
39年
40年
42年
44年
48年
51年
52年
平成
20年

東京都北多摩郡小平村小川新田 310
昭和 4 年 1 月 8 日
第二小平尋常高等小学校

野中新田与右衛門組 463 現 武道館
昭和 8 年 4 月
第二小平尋常高等小学校分校
(野中分教場)

昭和 16 年 4 月
小平第二国民学校

昭和 16 年 4 月
小平第二国民学校分校
(野中分教場)

昭和 22 年 4 月
小平第二小学校

昭和 22 年 4 月
小平第二小学校分校
(野中分教場)

三小

昭和 25 年 4 月
小平第二小学校分校
へ 名称を統一

野中新田善左衛門組 30 へ移転
昭和 32 年 4 月
小平第五小学校

昭和 37 年 4 月
小平第七小学校

昭和 39 年 4 月
小平第八小学校

昭和 40 年
九小

昭和 42 年 5 月
小平第十一小学校

昭和 44 年 5 月
小平第十四小学校

昭和 48 年 9 月
花小金井小学校

昭和 51 年 4 月
鈴木小学校

昭和 52 年 4 月
学園東小学校

東京都小平市仲町 310
創立 136 年 開校 80 周年
小平第二小学校

小平第二小学校は今年度、現在地に開校してから 80 周年、創立してから 136 年を迎えました。

本校は学制発布をうけて明治 6 年に創立した歴史ある小学校でありながら、その沿革の詳細はわかっていませんでした。小平第二小学校には創立してから開校までの間に、移転と合併を繰り返した他校にはない複雑な歴史があります。その経緯の中で創立した年を裏付ける資料をはじめ、沿革の根拠となる資料が埋もれてしまったことが原因と思われます。

それが昭和 50 年代から始まった小平市図書館による古文書整理事業により、地元の名士に伝わる資料から様々なことが明らかになってきました。今回の取材の中で新たにわかった点もあり、創立から開校までの本校の変遷は、ほぼ明らかになりました。

創立から開校までの 56 年の歴史をたどり、明治から歴史を刻んできた野中分教場、戦時中の学校の様子、戦後の人口増大に伴う校舎変遷の様子を卒業生の思い出を交えながら、創立から現在に至る 136 年の歴史を考察します。

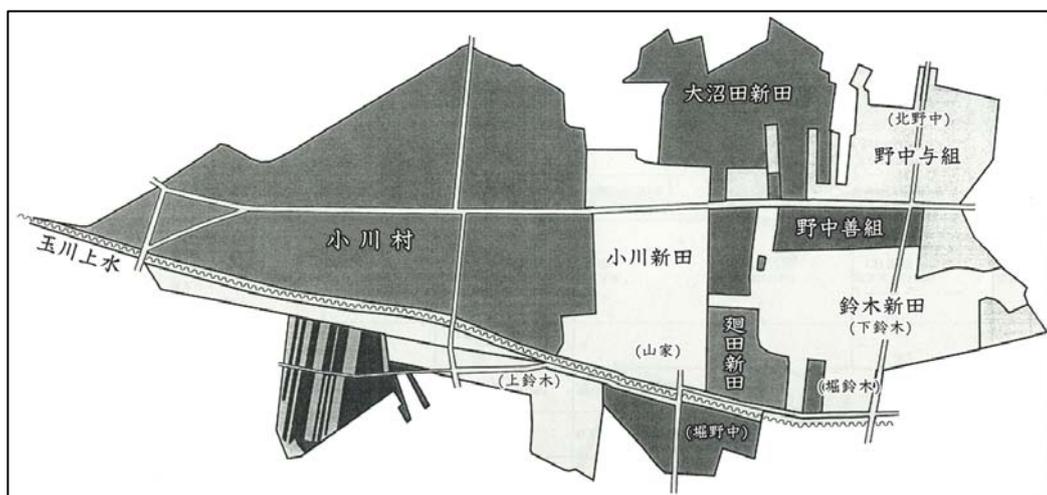
I. 明治 6 年から開校(昭和 4 年)までの歴史

－ 小平の教育機関の始まり －

小平で最も古い教育機関は、18 世紀前半に小川新田の熊野宮の神官宮崎采女うねめが始めた寺子屋と考えられています。小川新田の宮崎家、小川村三番の立川家、妙法寺、野中新田善左衛門組(野中善組)の岩淵家、鈴木新田の荒畑家などが寺子屋を開いていました。野中新田与右衛門組(野中与組)の高橋家は、文化 5 年(1808)から寺子屋を始めました。

明治 5 年、明治政府はそれまでの寺子屋制度を廃止し、小学校を各地に設立するという通達をだしました。当時小平全域が属していた神奈川県では、学制発布をうけてこの趣旨に沿って制度が更改されました。

これにより明治 6 年に、きょうどう協同学舎(小川村-妙法寺)、ぶんよ文畚学舎(野中新田-高橋恭寿屋敷内)、ひつぎよく櫃玉学舎(鈴木新田-場所不明)、しんよ新念学舎(小川新田-熊野宮宮崎邸内)の 4 校が設立され、文畚・櫃玉・新念学舎の 3 校が小平第二小学校の前身となります。



一 文^{ぶんよ}畚^{びんよ}学舎^{がくしゃ}の創^{そう}立^{りつ} 一

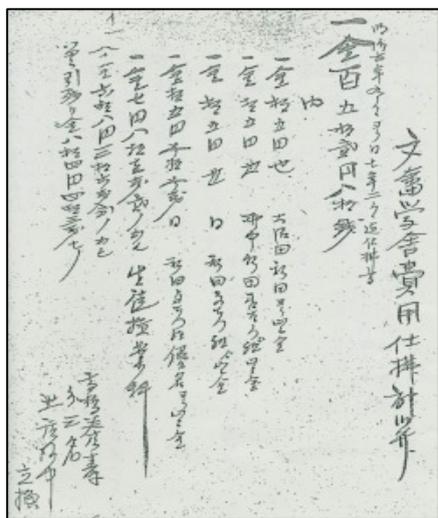
文^{ぶんよ}畚^{びんよ}の畚^{びんよ}という字は「新しく開拓して2・3年経った田」という意

文部省発行の「第二年報」(明治8年発行)、及び「第三年報」(明治9年発行)には協同・文畚・櫃玉の3校は明治7年に設立、新念に至っては明治8年に設立と記載され、「小平町誌」(昭和34年発行)には、明治6年に小川・文畚・櫃玉・新念学校を創立したという記事のみで、根拠となる資料は提示されていません。

本校前身の3校の中でも、主たる文畚学舎が本当に明治6年に存在していたのか、決め手となる資料がない状態が続きました。

しかし近年、東京都教育史編纂事業の中で集められた資料のひとつから、明治6年に存在したことを示す有力な資料ができました。文畚学舎の学校運営に係わる支出・収入を記録した校費精算簿です。

この中に、明治6年の9月から翌年の2月までと明記された計算書が含まれていたのです。現在この資料の原本は行方不明となり、コピーしかない状況ではありますが、明治6年に文畚学舎が存在したことは、ほぼ明確となりました。



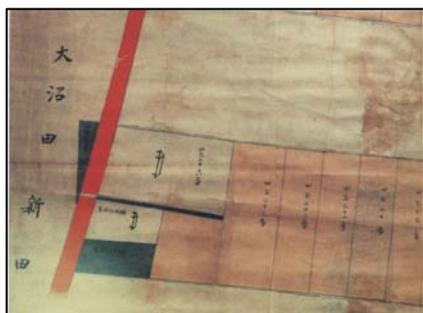
<文畚学舎校費精算簿>

一 文^{ぶんよ}畚^{びんよ}学舎^{がくしゃ}はどこにあったのか 一

明治6年、文畚学舎は野中新田与右衛門組の高橋^{きょうじゅ}恭寿氏(後の小平村長)屋敷内に創立しました。所在地は、野中新田与右衛門組426番地で、現在の大沼町1丁目426番地(昭和病院の北側、東京街道沿い南側 佐々木クリニックの場所)であったことがわかっています。

2年後の明治8年、神奈川県は一村一校の小学校はその村名を名前に付けるようにとの通達を出し、これを受け協同学舎は小川学校、櫃玉学舎は鈴木学校に改称。学区がふたつの村にまたがっていた文畚学舎(野中新田と大沼田新田)、新念学舎(小川新田と廻田新田)は従来の名前を踏襲し、それぞれ**文畚学校・新念学校**へと改称しました。

翌明治9年文畚学校はそれまでの高橋恭寿氏屋敷の向かい側、東京街道北側の泉蔵院に移転しました。



<高橋家付近拡大図 高橋家古文書>



<文畚学舎のあった場所の現在>

一 集成学校の建設計画から野中小学校へ 一



<泉蔵院>

明治 11 年 5 月、文畚・鈴木・新念学校の 3 校を「集成学校」と称して合併する願い出を神奈川県に提出し、同年の 11 月には新校舎建設に着手する計画が組まれました。

しかし地租の改正に拠る負担増しと諸物価の高騰などにより、集成学校の建設は頓挫してしまいました。集成学校は現実には存在しなかった学校でしたが、合併願が政府によって受理されていたために、書類上は存在します。明治 13 年 6 月に「学校分離伺い」が神奈川県令宛てに提出され、集成学校は名実共に閉校となりました。(集成学校の建設予定地は村の中央に位置する野中新田が想定されていました。)

明治 13 年 10 月、新たに小学校設置区域が修正され、新念学校は熊野宮の宮崎氏屋敷より平安院へ移り、**新念小学校**と改称、鈴木^{のなか}学校は**鈴木小学校**へと改称(場所は不明)、そして文畚学校は泉蔵院から高橋熊太郎氏屋敷に移転し、**野中小学校**と改称しました。この時、野中両組と大沼田新田が分離しましたが、大沼田新田が直ちに独自の小学校の設立ができない状況であったため、野中両組と大沼田新田との三ヶ村組合の状態は 3 年間という期限付きで継続されました。大沼田新田は 5 年後、村独自の小学校である新畚^{しんぼ}学校を設立しました。(場所は不明)

一 高橋熊太郎氏屋敷から弁天堂、弁天堂から高橋林三郎氏屋敷へ 一

年月不詳	大沼田新田泉蔵院ニ移転、仮校舎ニ充ル
明治 12 年 8 月	泉蔵院ヨリ野中 ^{のなか} 与右衛門高橋熊太郎氏屋敷内ニ移転、仮校舎トシ校名野中小学校ト改称ス
明治 13 年 月	仮校舎焼失セシ以て一時弁天堂ニ移リシモ狭隘ノタメ高橋林三郎氏ノ宅ヲ借り移転授業ス



<二小沿革誌 大正 6 年編纂>

本校に残る沿革誌では野中小学校への改称が明治 12 年 8 月と書かれているなど(実際は明治 13 年 10 月)曖昧な点もありますが、文畚学校が東京街道沿いを転々とした様子を知ることができます。

この高橋熊太郎氏が実在したのかどうか判然とせず、その屋敷がどこにあったのかということも不明でしたが、先頃ご子孫の高橋實さんのご協力で、ご自宅の仏壇の位牌の中に高橋熊太郎氏のお名前を確認することができました。

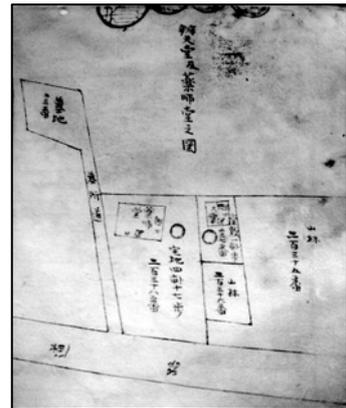
これにより高橋熊太郎氏屋敷というのが現在の花小金井 5 丁目 474 番地であったことが新たにわかりました。

沿革誌によると高橋熊太郎氏屋敷内にあった仮校舎が焼失してしまったために、一時学校は「弁天堂」へ移ったとあります。この弁天堂は、明治39年の社寺名簿(円成院記載)のなかで、その概要や地図が記されています。現在の野中北集会所周辺(花小金井4丁目)に弁天堂並びに弁天池、その西側には薬師堂も存在していました。

高橋熊太郎氏屋敷の仮校舎焼失後は、野中小学校はこの弁天堂に一時移ったものの、狭かったため高橋林三郎氏屋敷にて移転授業をした、とあります。高橋林三郎氏の屋敷がどこにあったのかはまだ明らかになっていませんが、文畚-野中学校は明治6年の創立からずっと、東京街道沿いに存在してきたことがわかります。(下図参照)



<高橋熊太郎氏屋敷周辺>
-現在の花小金井第五郵便局付近-



<明治39年の社寺名簿より弁天堂・薬師堂>

— 東京街道から青梅街道へ —

東京街道沿いを転々としてきた学校ですが、明治16年野中新田与右衛門組463番地(現在の花小金井武道館西隣)に移転、当時珍しかった2階建ての建物(もとは蚕室)を、1・2年生が1階、3年生以上は2階を使用しました。

明治22年、町村制施行により7村が合併し、小平村が誕生、これを機に野中小学校は**第二小平小学校**と改称しました。

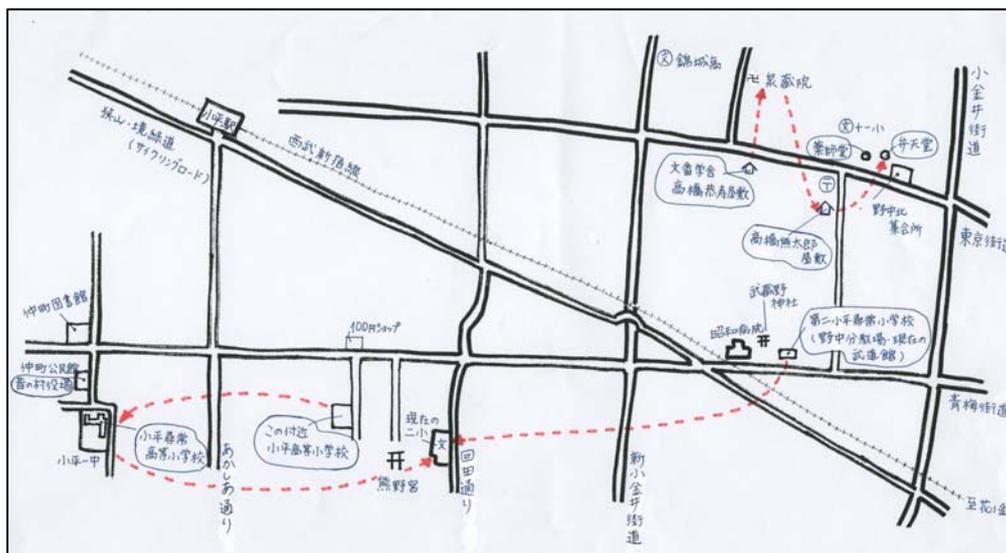
明治25年になると、学校の統廃合が行われ、これにより各学校の名称が改められました。

協同学舎が第一小平尋常小学校(現在の小平第一小学校)に、第二小平小学校は大沼田新田しんよの新畚学校と鈴木小学校を合併し『**第二小平尋常小学校**』と改称しました。

また平安院におかれていた新畚しんよ小学校は第三小平尋常小学校と改められました。(現在の小平第三小学校とは無関係)



<野中の第二小平尋常小学校 昭和2年頃>



<現在の地図で二小の変遷をたどる>

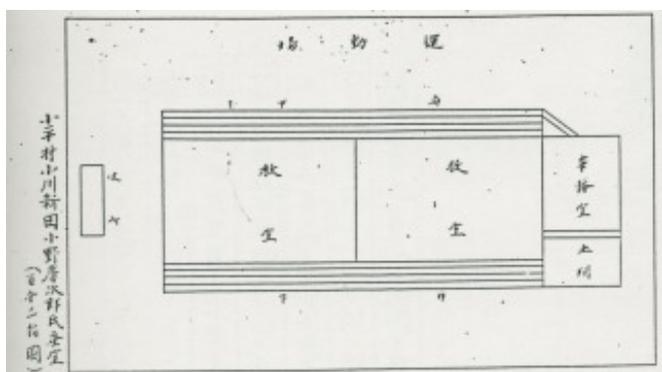
一 後に合併する小平尋常高等小学校の創立 一

当時の学制は、小学校は尋常科 4 年制(義務制)・高等科 4 年制(希望者のみ)に分かれていました。(小学校の義務教育が 6 年間に延長されたのは明治 41 年)尋常科を修了すると、約 7 割の子供たちは高等科へ進みました。

ところが当時の小平には高等小学校がなく、国分寺や砂川などの学校まで通っていました。このため村の中心部に高等小学校を設置しようという機運が高まり、明治 37 年 7 月、小川新田 379 番地(現在の熊野宮参道の一本西側 仲町 379 番地)の小野房次郎氏(後の小平村長)の養蚕室を仮校舎として「小平高等小学校」が創立されました。



＜小平尋常高等小学校＞
明治 44 年頃 現在の小平一中の場所



＜小平高等小学校 小野房次郎蚕室見取図＞



＜現在の仲町 379 番地周辺＞

明治 39 年 1 月、小川新田 506 番地(現在の小平第一中の場所)へ新築移転し、明治 42 年に第三小平尋常小学校と合併し「小平尋常高等小学校」となります。

翌明治 43 年には、高等小学校に進学できない子供たちを対象とした「実業補習夜学校」が併設されました。農閑期のみ開かれ、教科は修身・国語・算術・農業・唱歌でした。大正 6 年には名称から「夜」の字が除かれ、実業補習学校に改称、女子部も併設され、女子部の教科目は修身・家事・裁縫で、授業は昼間にありました。



＜実業補習夜学校が併置 大正 2 年から 6 年頃＞



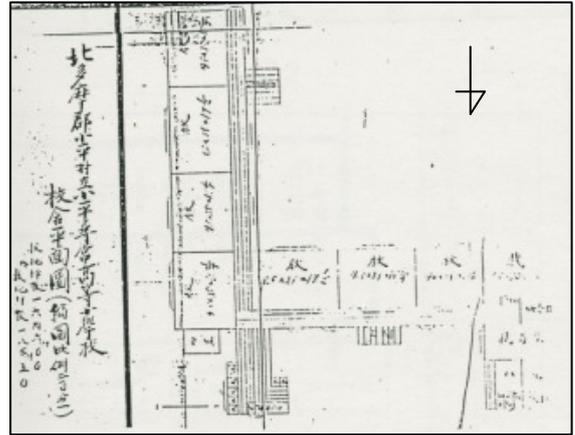
＜高等科男子 大正 12 年＞



＜尋常科男子 大正 14～昭和 3 年＞



<小平尋常高等小学校（現在の一中の場所）>



<小平尋常高等小学校見取図>

大正 9 年には国の実業補習規定が全面改正され、重点が補習教育から職業教育へと置き換えられました。大正末期、実業補習学校は農業公民学校と改称され、時間は午後 7 時から午後 9 時まで「夜学」と呼ばれ、小学校の先生が交代で指導にあたりました。

II. 開校(昭和 4 年)から現在までの歴史

一 昭和 4 年 現在地に小平第二小学校開校 一

複雑な移転と合併が幾多と行われましたが、明治 6 年の創立より 56 年後の昭和 4 年 1 月 8 日、「第二小平尋常小学校」と「小平尋常高等小学校」が合併され、高等科を併設する『小平村立第二小平尋常高等小学校』が小川新田 310 番地(現在地 仲町 310)に開校しました。

当時は、現在の小学校 1 年生から中学校 2 年生までの広い年齢層の子供たちが通い、高等科が併設されていなかった小平第三小学校の子供たちも高等科になると、遠方から通学してきました。

高等科が廃止されたのは、昭和 22 年のことでした。



<開校直後の卒業写真>



<昭和 11 年頃の正門 西を臨む>

一 野中分教場（分校）一

昭和4年に小平村立第二小平尋常高等小学校として統合された際、野中の旧第二小平尋常小学校の校舎は一旦廃校となりました。しかしその後、本校の児童数増加のため、昭和8年に**分教場**として再び使用されることとなりました。

野中の校舎は明治16年に現在の花小金井武道館の西側に建てられましたが、大正12年に新校舎が建て直されました。平屋の校舎で、職員室と教室3室があったほか、武蔵野神社の社務所や教員用の宿舎も併設されていました。

野中分教場は本校と同じように正門には松と御影石の門柱があり、土手にはオレンジのツツジが植えられ、校庭には土俵もありました。

映画会や学芸会、運動会をする時には本校にて合同で行うため、分教場の児童たちは手をつないで「鷹の道（現在の三中北通り）」を通過して、本校まで歩いて行きました。

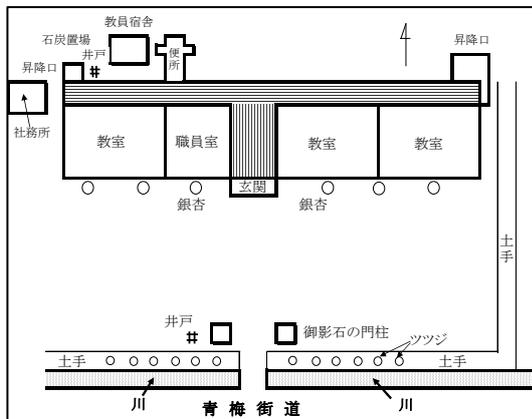
昭和25年4月からは「分教場」との通称では呼ばれず、小平第二小学校**分校**と呼ばれました。その後も児童数は増加し、分校の校舎が不足するようになると西側の旧青年団の建物も分校の臨時校舎として使用されました。



◊昭和36年6月 再び分校として使用していた頃◊
◊の写真は喜平図書館所蔵



臨時校舎として使用された大正時代に建築された青年団の建物は現存しています。



◊野中分教場（分校）見取図◊

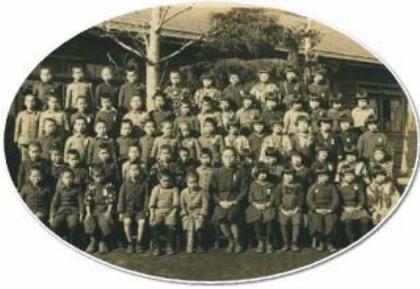
分校のおもいで

- ・石炭小屋や井戸がありまして、朝にガチャンガチャンと生徒たちが水を汲みました。（昭和28年卒）
- ・旧青年団の2階建ての建物の中を探検ごっこしたりして遊んだ。二小といえば、この2階建ての建物の校舎のを思い浮かべる。（昭和35年卒）
- ・分教場から近かった「東小平」の駅舎があって傘で飛び降りたりして遊んだ記憶があります。分教場ってというのは、団結してましたね。（昭和28年卒）



◊昭和22年の野中分教場周辺 国土地理院◊

— 戦時中の二小 —



昭和 17 年国民学校初等科 3 年生

戦時中、小平には数々の軍事基地と工場があり、これらは攻撃の目標とされました。昭和 19 年 12 月、小平に初めての空襲があり、花小金井駅東方の防空壕の中で小平第二小学校の児童 1 名の命が家族と共に失われました。

小平には東京女子高等師範附属国民学校・青山国民学校の児童が学童疎開に来ていましたが、戦況が厳しくなり小平も危険であるということで、やがてこれらの学校は他府県に再疎開していきました。このことからわかるように、小平も決して安全な地とはいえませんでした。

爆弾が落ちたっていうと、とにかく破片を集めて家に持ち帰り、机の上に並べてコレクション自慢。(昭和 21 年卒)

木村質店のそばの雑木林に一発焼夷弾が落ちた。(昭和 23 年卒)

毎日座布団で作った防空頭巾を持って行った。通学途中でサイレンが鳴ったら即帰宅、学校でサイレンが鳴ったら今の常盤組の杉林に避難。毎日鳴った。(昭和 23 年卒)

東京大空襲は小平からも良く見えた。夕焼けのようだった。(昭和 23 年卒)

戦争ごっこ？よくしたよ。高等科の人たちも一緒に男ばかり 10 人くらいで。つかまると木にしぼられる。忘れられて置いてきぼりにされちゃうと、どっかのおばちゃんが助けてくれる。(昭和 23 年卒)

昭和 19 年 8 月に学徒動員で、高等科 1 年の半数が中島飛行機製作所へ行き、昭和 20 年に残りの半数と 1 学年下の全員が陸軍経理学校に行った。尋常科の児童は出征兵士の留守宅に勤労奉仕をしに行った。(50 周年記念誌より)

青梅街道を通る車は全部米軍関係だったよ。金髪の女の人も私服でよく運転していた。サングラスかけて、白いスカーフなびかせて。みんなで見に行ったら。全部米軍の車。小平には車が一台もなかった。石炭車だってなかったんだから。(昭和 23 年卒)

入学前にカタカナを覚えてから入ったら、最初に習ったのが平仮名で面食らった。(昭和 28 年卒)

陸軍経理学校が閉鎖する時、各自そろばんと書道一式をもらった。経理学校の後に進駐軍が来て、お菓子や軟式の野球の道具をくれた。(昭和 23 年卒)



連合軍関係文書綴。戦後、没収となった書物名一覧・歴史と地理の教育の一時停止の通達文書などが収められている。

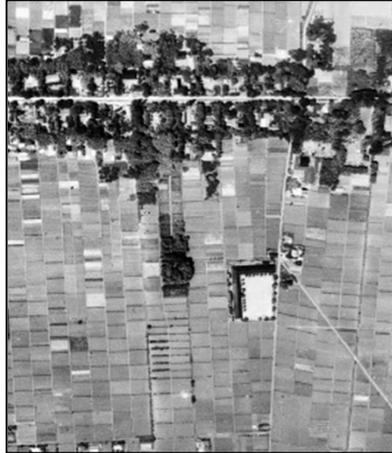
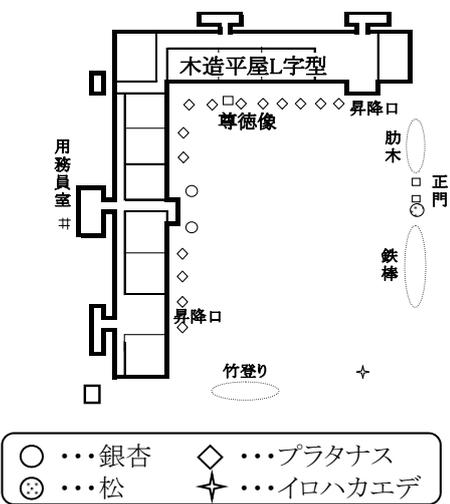


旧正門の門柱に架けられた連合軍関係の木札。『連合軍の係員で公用以外の訪問者は Tokyo Military Government Team(連合軍下部組織)の通行証を所持の上、提示すること。』という内容。

— 目で見る校舎変遷 —

戦後の人口流入に伴い、小平第二小の児童数も急増しました。現在の児童数の3倍近い約1400名だった時代もあります。校舎は増築を重ね、分校もできました。空撮写真、卒業アルバムの写真、並びに卒業生のひとことと共に、地域と歩んできた学校の姿をたどります。

① 昭和4年～24年 L字型校舎



<国土地理院 昭和22年>

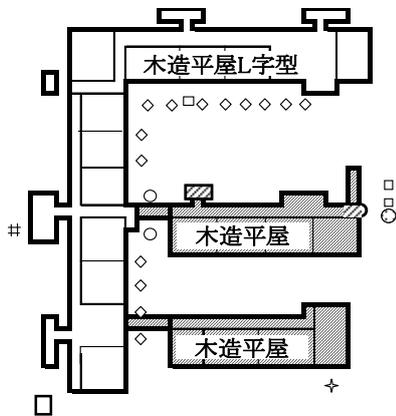


昭和24年撮影 L字型校舎

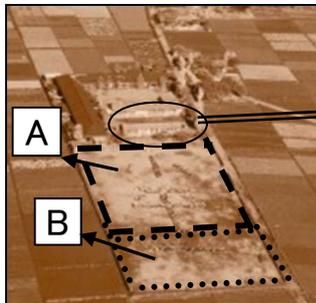
松のある正門を入って、左にずらっと鉄棒、砂場、竹製の登り棒（昭和23年卒）鉄棒に腰掛けて富士山はじめ、遙か丹沢や秩父連山が見通せた

校舎裏に用務員室があって、ご一家で学校に住んでいた。用務員室から靴を履き替えなくても行ける所に井戸があった（昭和28年卒）

② 昭和26年の木造平屋校舎二棟増築 と 校庭拡張



昭和29年 開校25周年
記念航空写真



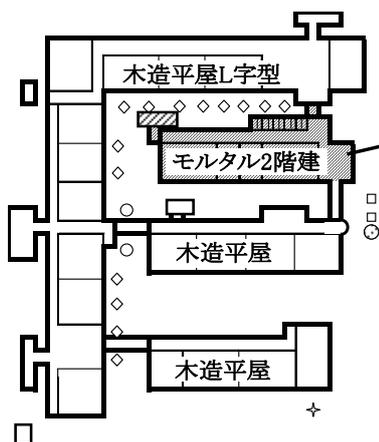
A・・・昭和25年 1328坪拡張
B・・・昭和27年 715坪拡張
(A・Bは推定)

<木造平屋校舎二棟>



資材入手困難で静岡県で木材を調達し、南向き校舎二棟増築
並木覚次郎氏と吉田藤吉氏が土地提供下さり、広い校庭になった。(40周年記念誌より)

③ 昭和33年 モルタル2階建て校舎増築 <現在の北校舎の位置>



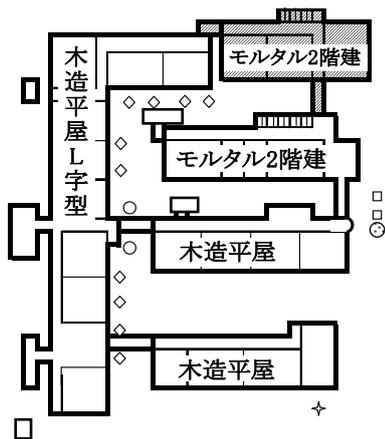
<モルタル2階建て>



<新校舎より北側L字型校舎をみおろす>

分校が第五小学校として昭和32年に開校したが、児童は増加の一途を辿る再び二部授業となり、昭和33年再度校舎増築
2階建校舎は当時、小平一中に次ぎ、2番目（40周年記念誌より）

④ 昭和34年 モルタル2階建て校舎建築 <現在の体育館の位置>



<国土地理院 昭和36年>



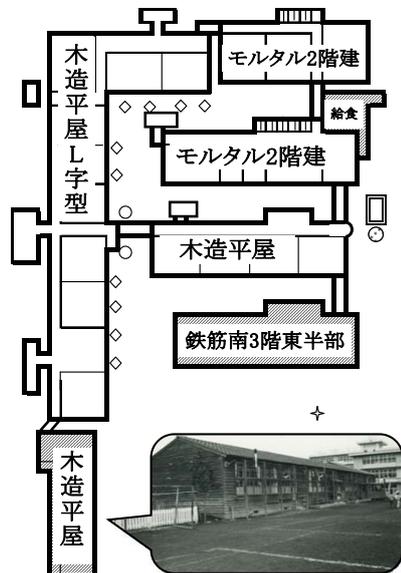
<北側モルタル2階建>

この校舎建設中は野中の公民館分館を仮校舎として使用。一部児童が野中に通学した

(昭和36年卒業文集より)

学園から通学する児童は、回田通りを北に左折すると角に小さな入口があってそこから校内に入った(昭和38年卒)

⑤ 昭和41年 鉄筋3階建て東半部建築<現南校舎>・木造平屋校舎運動場西部に移転



<校庭西側に移動した木造平屋校舎>



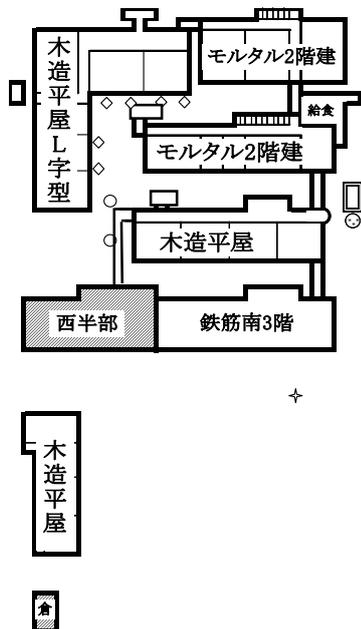
<国土地理院 昭和41年>



(上)昭和41年 運動会。南校舎東半部のみ建設中。これに伴い、もともと建っていた平屋木造校舎が校庭西側へ移動(左図)

鉄筋校舎北側の木造平屋校舎が一番薄暗く、1年生の教室だった。トイレが大変暗く、1年生は我慢して家に走り帰る始末だった。(校報15より)

⑥ 昭和43年 鉄筋3階建て西半部建築<現南校舎>



<国土地理院 昭和43年>

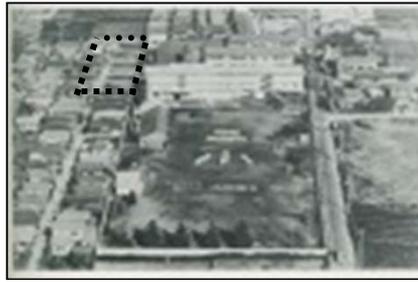
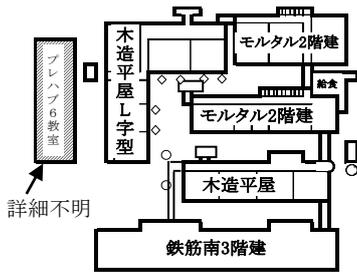
航空写真の
チェックポイント!

熊野宮の参道・なみき幼稚園・
むさしヶ丘学園・ピオトーブ周辺・



(上)南校舎東側には大きなバックネットがあった
昭和43年3月 ブロック製体育倉庫工事完了
5月現南校舎西半部も落成

⑦ 昭和44年 西側校地拡張 500坪 & プレハブ6教室



< 昭和43年 40周年記念航空写真 >



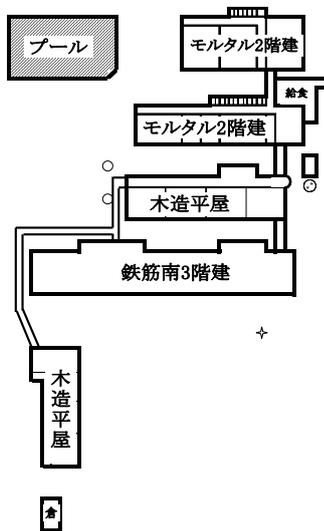
< 昭和45年3月卒業アルバムより >



< 昭和45年3月卒業アルバムより 朝礼 >

昭和42年に現南校舎西半部を作る際、西側の木造平屋L字型校舎南半部を取り壊す。残った北半部は現ビオトープ周辺にあったプレハブ教室と共に小平十四小が1学期間使用。プレハブ教室の建った土地(現ビオトープ周辺)は、44年に卒業生・PTAの運動で500坪の土地を獲得した。この時一軒立ち退きが遅れ、プールが少し東に寄せて作られた。

⑧ 昭和45年 木造平屋6教室撤去・プール完成



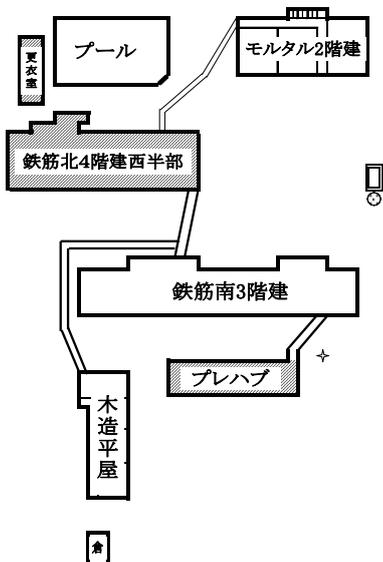
< 国土地理院 昭和46年 >



< 昭和46年3月卒業アルバムより 正門 >

昭和45年3月に木造平屋L字型校舎撤去7月に念願のプールが完成。プールがなかった30年代は鷹野街道と山王通りの交差点西北にあった町営プールまで歩いた。小平一中にプールができてからは小平一中に貸してもらっていた。奥に見えている大銀杏2本は北校舎建設のた

⑨ 昭和47年 鉄筋4階建て<現北校舎>西半部建設



昭和46年3月、南校舎の南側にプレハブ増設昭和47年3月、現北校舎の西半部落成、4月より使用開始。8月、現北校舎東半部着工。校内、渡り廊下が迷路のようにはりめぐらされる。

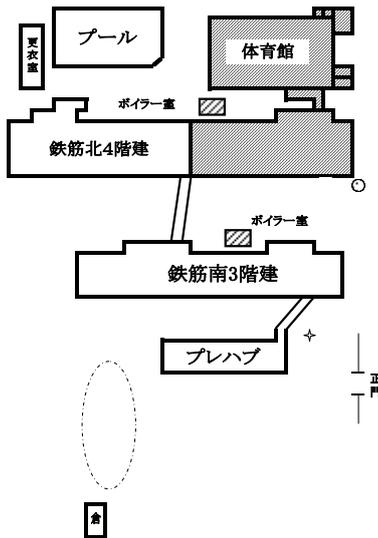


昭和48年3月卒業アルバムより

木造校舎は歩くと床がミシミシ音をたてた。冬は石炭ストーブがあって当番が燃料を小屋に毎日取りに行った。(昭和50年卒)

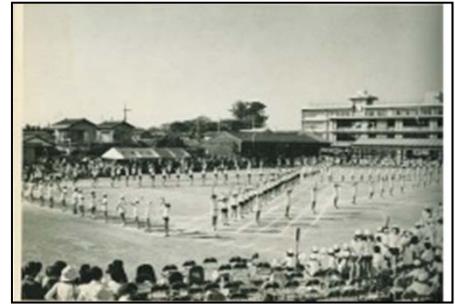
(上)北校舎は西半部のみ新校舎建替えてプレハブ校舎が建設プレハブ第1号生だった。夏はすっごく暑かった。(昭和48年卒)

⑩ 昭和48年 鉄筋4階建て北校舎東半部 & 南校舎防音工事 ・ 昭和49年 体育館完成



<昭和49年 航空写真>

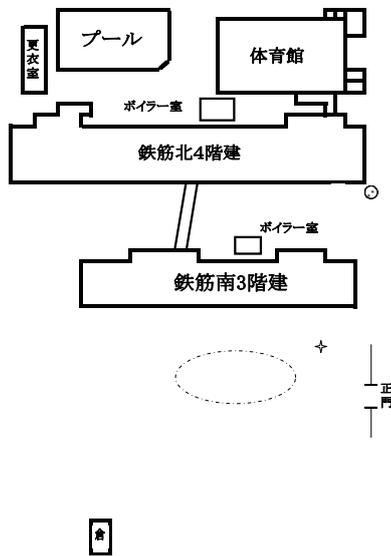
昭和48年3月現北校舎東半部完成
7月より南校舎防音工事開始
昭和49年3月校庭西側木造校舎取り壊し
5月より体育館着工、11月落成
10月に正門、通用門、校庭東・西側



<昭和49年3月 卒業アルバム>

小平第二小の昔の校舎はL型。今はH型をしているよ。航空写真で見るとよくわかる。昔がLoveで今はHeart。(昭和20年卒)

⑪ 昭和52年プレハブ撤去、昭和58年回田通り拡幅のため校地削減・正門改修



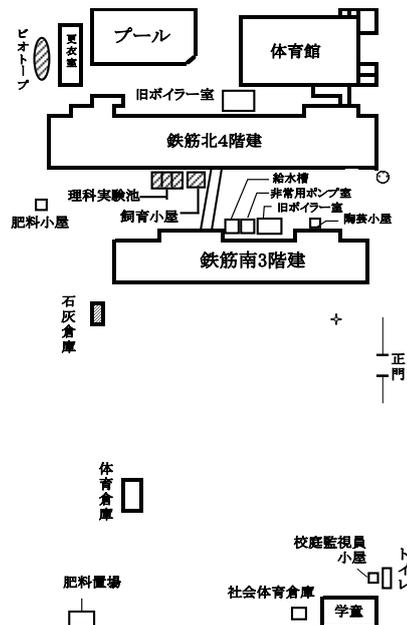
<国土地理院 昭和54年撮影>



<昭和53年 50周年航空写真>

昭和51年児童数1400名を超え、学園東小が
でき、児童が移籍
その後、昭和52年度にプレハブ撤去
昭和58年1月回田通り拡幅のため、体育館東
側、給油門、正門などの校地が削られる
3月、新正門完成

⑫ 平成20年 現在の小平第二小学校



<平成20年5月 80周年記念航空写真 写真提供(株)フォトスタッフ 無断転載禁止>

一 児童数増加 一

町制施行(昭和 19 年)から市制(昭和 37 年)が施行されるまでの 18 年間に小平の人口は 5,8 倍に増加しました。

戦後の都内区部の住宅難に伴う人口の流入と、昭和 23 年以降の都営住宅の建設、昭和 30 年代に入ってから工場の誘致が主な理由です。市制施行後は小平団地・小川団地などの入居があり、昭和 41 年には人口が 10 万人を越え、昭和 51 年には小平市の人口は 15 万人を突破しました。

開校当時は高等科を含めて 500 名弱でだった小平第二小学校ですが戦後、児童数は急増し、教室数が足りなくなり、二部授業(学年ごとに午前と午後に分かれて通学)がやむなく実施された時期もあります。戦後の 30 年間はこの児童数増加に対処するために、間断ない校舎増築と分校設置に追われた時期でした。

児童数がピークを迎えたのは昭和 51 年度で、現在の 3 倍近い 1,400 名余りの児童が在籍していました。昭和 52 年の学園東小学校の開校以降、児童数は減り、平成 4 年度になると南校舎から学級用の教室がなくなりました。



＜昭和 24 年の授業風景＞



＜昭和 47 年当時の朝礼の様子＞

＜開校当時の在籍児童数＞

	男	女	合計
1年	33	29	62
2年	36	25	61
3年	33	29	62
4年	35	35	70
5年	32	27	59
6年	36	27	63
高等科 1年	30	16	46
高等科 2年	27	28	55
合計	262	216	478

教職員 10名



二部授業で、午後からって時は遊んじゃって学校に来なかったりして。(昭和 30 年卒)

児童数が多く、朝礼が始まる前にドッジボールの陣地の取り合いをした。(昭和 45 年卒)

縄跳び集会があると列の後ろの子はスペースがなく、いじけていた。(昭和 52 年卒)

卒業生のおもいで

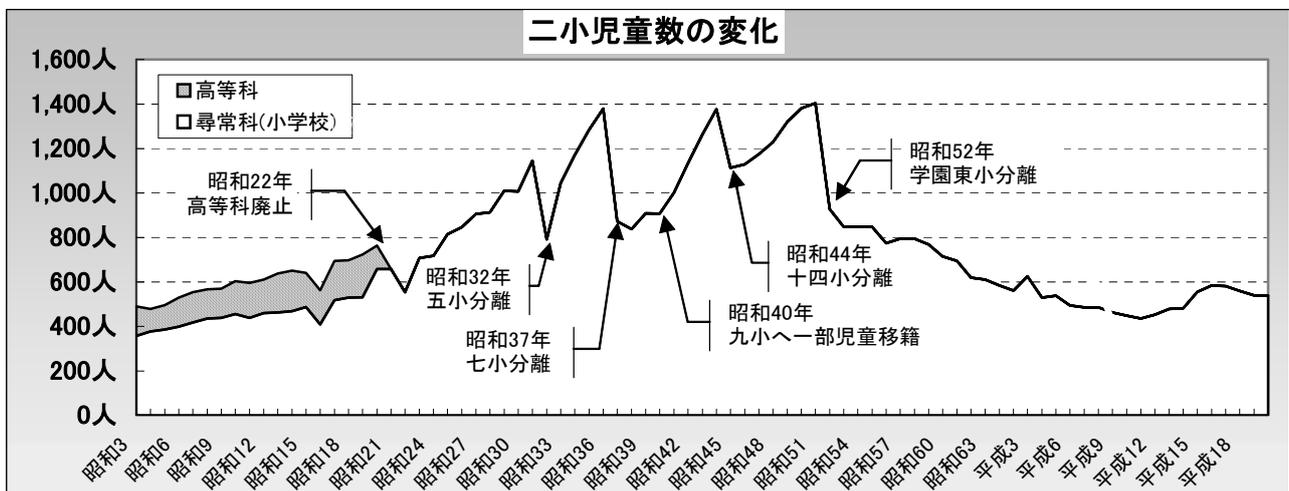


とにかく同級生が多くてちよつとくらい出来ても出来なくても、目立つのは難しかった。(昭和 54 年卒)

児童会の決定で、休み時間の校庭使用を交替使用の制限をされたことがあった。(昭和 54 年卒)

転入してきた都会の子からは回虫がでないの。生活違うから。その時期になると、なんかイヤだった。(昭和 36 年卒)

分校がたて続けにできて、友達と別れることが何回かあって、淋しい思いをした。(昭和 54 年卒)



※昭和 16 年、21 年、54 年、55 年、58 年は資料不足のため推定値。

－ プールと体育館の建設 －

小平の子供たちが水に親しむと言えば、昔は身近に用水しかありませんでした。そのため高学年になると臨海学校に行きましたが、日常泳ぐ機会はほとんどなかったようです。昭和 34 年に現在の新小平駅南りに灌漑施設の貯水槽兼用の町営プールができ、二小の子供たちも歩いて泳ぎに行きましたが、設備は整っていませんでした。

小平一中にプールができてからは、一中のプールで授業を行いました。二小念願のプール建設が実現したのは昭和 45 年 7 月のことです。子供たちが喜んだのはもちろん、保護者対象の水泳指導も盛況でした。

現在は通常のプール授業のほか、着衣水泳の体験授業も行われています。またシーズン以外の期間には、3 年生の「ヤゴ調査隊」のためのトンボの産卵場所を浮かべるなど、年間通して活用されています。

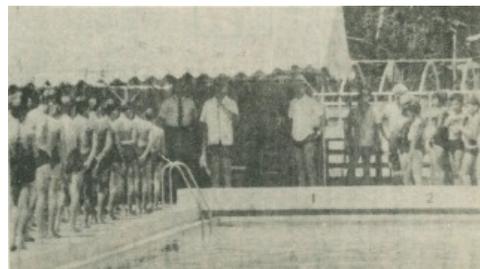
二小にとって、もうひとつの念願であった体育館が完成したのは昭和 49 年 11 月です。体育館完成により子供たちの体力づくりに大きな前進がもたらされたほか、入学式・卒業式などを天候に関わらず行えるようになりました。それまでの催しは雨天時に備え、小平一中の講堂を借りるなど負担が大きいものでした。この体育館の落成と正門フェンスなどの新設をもって、長年にわたる校舎建築計画は完結し、盛大な祝賀会が体育館で開かれました。



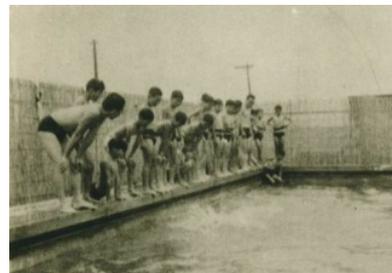
<校舎が撤去され体育館建設予定地が更地となっていた時期>



<現在のプールと体育館>



<プール開き 広報誌「ひまわり」より>



<一中のプールに泳ぎに行っているところ>



広報誌ひまわりにはプールと体育館の完成をまちわびる記事が目立つ

プール&体育館のおもいで

- ・ 6 年生の時にプールができて、第 1 回水泳大会が開かれた。(昭和 46 年卒)
- ・ 冬場、プールに魚を放し、プール開き前に釣り大会をした。(昭和 54 年卒)
- ・ 暑い中、バスタオルを抱えて町営プールまで歩き、やっと辿りついたが、アメンボがたくさん泳いでいた。(昭和 44 年卒)
- ・ 波のプールや流れるプールが面白かった。(昭和 60 年卒)
- ・ プールでは飛び込み練習でお腹を何度も打った。(昭和 56 年卒)
- ・ 体育館落成の時は児童会でも祝賀行事をやって挨拶した。(昭和 50 年卒)
- ・ 体育館には、車が 100 台買える費用がかかったんだよ、と聞かされビックリした。(昭和 52 年卒)
- ・ 上履きとは別に体育館履きがあって、体育館をととても大事にしていた。(昭和 54 年卒)



— 今の二小 —

教育目標

- 考える子 自分の考えを持ち、判断し、行動できる子供
- 思いやりのある子 相手の立場や気持ちを考え、共に生きる豊かな心をもつ子供
- やりぬく子 元気でたくましく、最後まで頑張る子供

特別支援学級

— 若草学級 —

昭和 37 年 小平市初の心障児学級として開設。16 名
 昭和 46 年 校舎完成・教室移転
 昭和 49 年 木造校舎取り壊し
 昭和 50 年 重度児学級 2 学級認可
 平成 9 年 五小の身障学級(さくら学級)開設に伴い、9 名転出
 平成 19 年 「心身障害学級」から「特別支援学級」に名称変更



— ことばの教室 —

昭和 53 年 小平市初の言語障害学級として開設
 通級制で個別指導という指導形態・心理療法を取り入れた指導内容で、ことばの問題で困っている子供たちのために開級されています。



高齢者交流室

平成 13 年 2 月に南校舎 1 階東端に開所した高齢者交流室には地域の方が曜日ごとに来られます。児童たちとの交流も盛んで、子供たちは利用者さんとの交流ランチなどを楽しみにしています。また開所した年にできた二子二子合唱団は三世代合唱団として親しまれています。



昔なかったこんな時間・こんな場所

「キャリア教育・学力向上・健康安全教育」を推進



ランチルーム
(平成 9 年から)



パソコン室
(平成 11 年から)



少人数算数教室
(平成 13 年から)



ALT による英語活動
(平成 17 年から)



きょうだい学年の交流
(平成 17 年から)

そのほか平成に導入されたもの

平成 4 年 低学年に生活科導入 第 2 土曜日休業へ
 平成 7 年 第 4 土曜日も休業へ まりも園との交流
 平成 13 年 授業参観日に替わり、学校公開週間
 平成 14 年 学校週 5 日制完全実施 総合的な学習の時間
 平成 15 年 二小よさこい
 平成 17 年 二小クリーン大作戦 学芸会に替わり学習発表会
 教育相談室
 平成 18 年 図書バーコード管理
 平成 19 年 スクールガード スクールカウンセラー
 平成 20 年 にこにこ子ども教室

現在の時間割

	月	火	水	木	金
1	国	国	図	国	生活
2	体	算	体	算	生活
3	算	図	算	音	体
4	国	図	国	学	国
5	道	音		国	

【平成 20 年度 1 年生の時間割】

	月	火	水	木	金
1	算	国	図	算	道
2	社	音	総	算	国
3	家	理	国	理	総・算
4	家	算	体	理	総・算
5	国	体	算	総	社
6	国	社		クラブ	体・学

【平成 20 年度 6 年生の時間割】

生活時程表

普通時程	水曜時程(B)
8:35~8:45	朝の会
8:45~9:30	1校時
9:35~10:20	2校時
10:20~10:40	中休み
10:45~11:30	3校時
11:35~12:20	4校時
12:20~1:40	12:20~13:20
昼食・清掃・昼休み	昼食・昼休み
1:45~2:30	1:25~2:10
5校時	5校時
2:35~3:20	6校時

【北校舎】

4 階	図書室	準備室	6 の 1	6 の 2	6 の 3	算数教室	児童会室	準備室	第一音楽室
3 階	家庭科室	準備室	5 の 1	5 の 2	5 の 3	3 の 1	3 の 2	準備室	理科室
2 階	4 の 1	4 の 2	4 の 3	1 の 1	1 の 2	2 の 1	2 の 2	2 の 3	生活科室
1 階	西昇降口	ことばの教室	ことばの教室	ことばの教室	若草 2 組	若草 1 組	若草職員室	若草ホール	東昇降口

【南校舎】

3 階	図工室	準備室	第二図工室	PTA 室	教育相談室	準備室	第二音楽室	
2 階	教員室	放送室	職員室	印刷室	ランチルーム	準備室	パソコン室	
1 階	用務員室	職員玄関	事務室	校長室	保健室	第二保健室	和室	高齢者交流室

校内案内

委員会活動 (11)

代表 放送 図書 エコ
 音楽 ニコニコ 理科
 体育 集会 生活
 保健給食

クラブ活動(13)

バスケット サッカー 野球
 マンガイラスト 手芸
 ダンス ニュースポーツ
 卓球 料理 マリンバ
 パソコン 科学 和太鼓

— 地域との連携 —

青少対

『次世代を担う青少年を健全に育成するため』に作られ。昭和36年7月に中学校地区の地域住人の自主的組織として設置された後、昭和57年に小学校区域を単位とした「青少年対策地区委員会」が発足しました。通称「青少対」と呼ばれています。二小地区では春のフリーマーケットや夏のラジオ体操、校庭で行うこどもキャンプ、わくわく科学教室などのイベントを企画・実行しているほか、「すこやかトライ&チャレンジ祭」にも協力しています。



こどもキャンプ



ラジオ体操

歴代 青少対会長

- 初代 石川勲
- 2代 並木弘
- 3代 比留間眞悟
- 4代 吉田照好
- 5代 井上昭子

自治会ボランティア

学園長寿会

平成16年4月から、正門・ドラえもん(西門)及びびうま出し通りに、毎日通学時間帯に立って、子供たちを見守ってくださっています。

秀峰会

平成18年4月から、いなげやの交差点をはじめ、青梅街道沿いに、毎朝立って、子供たちを見守ってくださっています。

学童農園・ヤゴ救出ご指導



平成14年度から岸野さんにお世話になっています。



毎年3年生が前田さんに指導いただいています。

交通安全教室・消防写生会



— 家庭との連携 —

PTA

二小のPTAは昭和25年4月に結成されました。子供たちの幸せを目指し、協力し、大人として何をすればいいのかを考える場として組織されています。現在、多様な委員会活動のほか、近年は組織的なボランティア活動も活発になっています。



子供たちと地域の安全のために平成18年度より活躍しているPTAキャラクターのNICK(ニック)



学校広報誌「ひまわり」
創刊は昭和43年



集団下校風景



学童保育



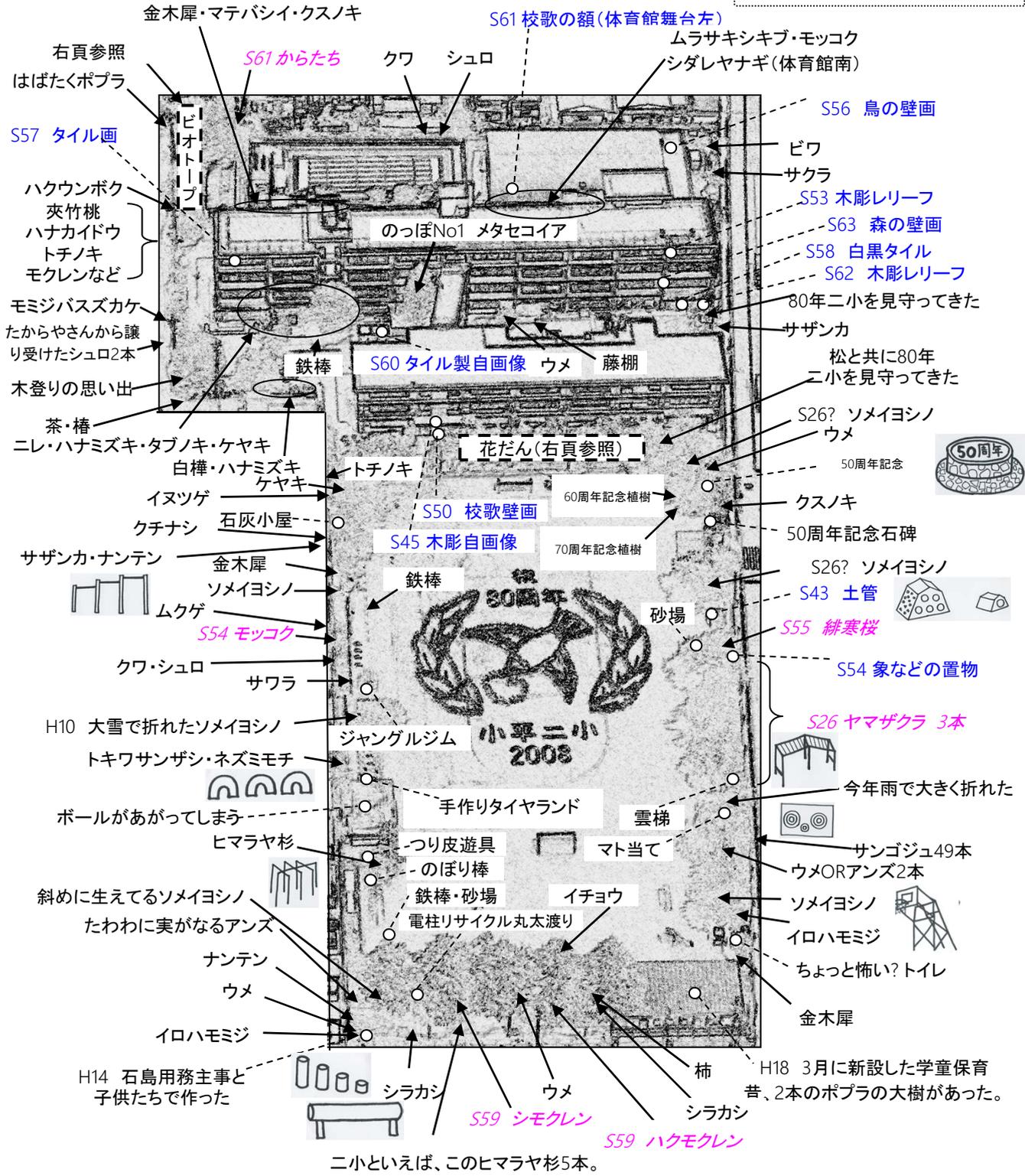
平成19年度、保護者へ情報をメールで発信する「Nikoメール」が導入され、平成20年度、子供の登下校をメールで知らせる「キッズパス」が希望者に導入されました。

明治6年の創立から136年、現在の地に開校して80年の時が経ちました。
平成20年12月現在548名の児童が小平市立小平第二小学校で学んでいます。

樹木MAP



年代記載の木は卒業植樹。
年代記載のその他は卒業制作。





ニッパといっしょに
時間旅行を
しよう、パ♪

カッパ トラベラー

～S10年～

- ・人力車で村長が村役場出勤するの
通学路でよく見かけた
- ・消防団の出初め式がニッパであった
- ・新嘗祭 (にいなめさい)

S10年～S20年～

- ・1日・15日は通学途中で神社に寄り、
祝詞・教育勅語の暗記
- ・国民学校

S20年～S24年～

- ・校庭東側の広大な練兵場
- ・赤いタン屋根
- ・新田対抗リレー
- ・分教場のいやしの先生の「**西游記**」
- ・砂利道の青梅街道
- ・銀杏とアオナシ
- ・お宮ぞうじ
- ・野球の対外試合
- ・森田邦良先生の
グライダー
- ・鈴の合図
- ・警戒警報
- ・松
- ・土手
- ・木造平屋し字型
校舎

ニッパといっしょ



S25年～ S30年

- ・二部授業
- ・大太鼓でチャイム
- ・周りは火田
- ・国王登場

・たからや

・金銀杏

・おら羊紙のノート

・富士山



・西武電車見えた

・S26年3月桜の植樹

・井戸当番

・修学旅行の枕投げ

S30年～S40年

- ・分校校舎前の土俵
- ・検便
- ・回虫
- ・たからや
- ・ぼろとトイレ
- ・予防注射
- ・たまるまストーブ
- ・富士山

S40年～S50年

- ・たまるまストーブ
- ・体育館ができた
- ・ヒヨコ売り
- ・フールができた
- ・はたしタビ
- ・ちゅうちゅうフルマー
- ・フールハブ
- ・そとフ
- ・土管の池並み

S50年～S54年

- ・たからや
- ・かとうや
- ・ヒマラヤ杉
- ・アメリカシロヒトリ駆除
- ・二階建て
- ・木造
- ・ホソヤ
- ・原口歯科
- ・中川校長
- ・大島校長の朝礼
- ・50周年の風船とはし
- ・二人掛けの机
- ・岩石園
- ・七夕集会

S55年～S60年

- ・ニッパ音頭
- ・迷犬
- ・川田忠先生
- ・たからや
- ・かとうや
- ・サッカー朝練
- ・井上欽也先生のコーディオン演奏
- ・カブトムシやヒヨコ売り
- ・石碑

S61年～H5年

- ・冬のマラソン大会
- ・たからや
- ・校門の桜
- ・トイレの花子ちゃん
- ・体育館は"き"
- ・シルバー-精工
- ・土器作り
- ・学級詩集「コスモス」
- ・女子サッカー

H6年～H20年

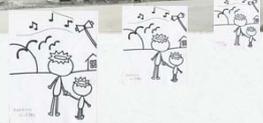
- ・タイヤ遊び
- ・マラソン大会
- ・ヤゴ
- ・交流室
- ・ドラえもん
- ・富士山
- ・フソマーケット
- ・子どもキャンプ
- ・木崎牙権則先生
- ・ダブルダッチ
- ・ヒートアップ
- ・岸野さん



まずは近くをたんけんする、パ



ニッパの
街道てくてく旅



吉田屋米店



野中新田駐在所



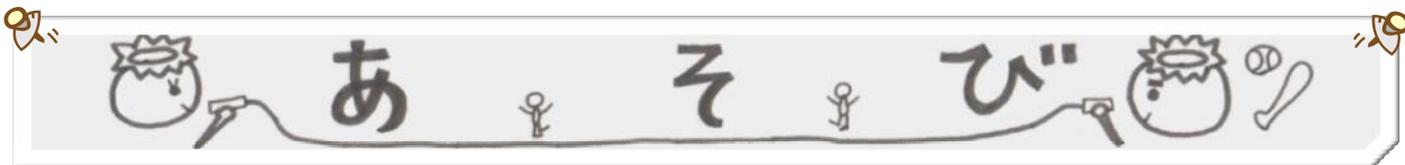
石森酒店前



熊野宮



正門前の横断歩道



昭和前半頃の遊び

ベーゴマ、釘倒し、馬跳び、メンコ
鉄輪ゴマ、グライダー、ビー玉
おはじき、羽根つき、三角ベース

自分が遊ぶための道具は自分で
作ったりした！夏と冬の遊びは違う！

平成の遊びは！

野球、サッカー、バスケットボール
一輪車、コンピューターゲーム
カードゲーム、泥警、ポコペン
ドッチボール、縄跳び、色鬼

テレビ、ゲーム機、パソコン
画面を通じての遊びが多い！



伝書鳩を飼うのが流行った
少しずつ慣らしてしつけるの
とりあえず家の辺りを
飛ばしてみよう
帰ってこないこと？
あるある！（昭和36年卒）



地域センターでよく卓球をしました。
（平成10年卒）

学園坂下にあった熊谷組グラウンドで
軟式野球。（昭和39年卒）

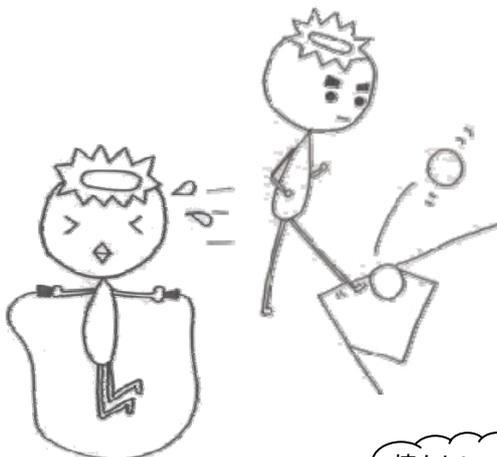
子供達の遊び場が
なくなってきている？
ボールを使った遊びが
出来なくなってきている！！



二小の子供は
どんな遊びが好き！

昭和後半頃の遊び

野球、自転車、鬼ごっこ、ゴム段
ドッチボール、ガンバコ、切手集め
ラジコン、プラモデル、縄跳び
缶蹴り、釣り



釘倒しをしましたよ、五寸釘で。

（昭和21年卒）



戦争中に小平に疎開してきた町の子が
ベーゴマを持ち込んだ、それまでは
ベーゴマは無かったんだから。

（昭和23年卒）



三角ベースをよくしたよ、手作りの
球をバイスと呼んで投げて手で打つ
落ちたバイスを誰かに当てると
アウト、下校してからよくやった。

（昭和23年卒）



おもちゃのアルバム

懐かしい
おもちゃ

日本玩具協会 HP より

- 明治 5年 ブリキ製金属玩具輸入
- 明治 37年 戦争玩具、戦争将棋、勲章玩具
- 大正 6年 セルロイド製キューピー人形
- 大正 15年 めんこ、ベーゴマ流行
- 昭和 6年 紙芝居「黄金バット」が人気
- 昭和 8年 「のらくろ」玩具が売れた
- 昭和 20年 ブリキ製ジープ玩具発売
- 昭和 29年 ミルク飲み人形
- 昭和 30年 ラジコン出現
- 昭和 31年 ホッピング大流行
- 昭和 32年 バドミントン登場
- 昭和 33年 国産プラモデル
フラフープ大流行
- 昭和 35年 ダッコちゃん大ブーム
- 昭和 39年 鉄腕アトム、鉄人28号
- 昭和 41年 オバケのQ太郎
- 昭和 42年 リカちゃん人形
- 昭和 43年 人生ゲーム
- 昭和 45年 タイガーマスク
- 昭和 46年 アメリカンクラッカー
ボーリングゲーム
- 昭和 47年 仮面ライダー



- 昭和 48年 オセロゲーム
- 昭和 49年 ジグソーパズル流行、モンチッチ
- 昭和 53年 スライム
- 昭和 54年 ウルトラマン人形、
インベーダーゲーム大流行
- 昭和 55年 ルービックキューブ
ゲームキューブ
- 昭和 56年 機動戦士ガンダムのプラモデル
チョコQ
- 昭和 58年 ファミリーコンピューター発売
- 昭和 64年 ゲームボーイ発売
- 平成 2年 クレーンゲーム、スーパーファミコン
- 平成 4年 セーラムーン
- 平成 7年 バトル鉛筆
- 平成 8年 たまごっち
- 平成 9年 ポケットモンスター大ヒット
ハイパーヨーヨー
- 平成 11年 遊戯王オフィシャルカードゲーム
- 平成 12年 ペットロボット
- 平成 17年 ムシキング、ラブ AND ベリー
アーケードゲームが大人気
- 平成 18年 Wii、プレイステーション3発売



くらしと農業



小平には水田がほとんどありませんでした。そして、大体どこの家も自給自足で
おこぼ
陸稲(畑で作る稲)を作るようになるまで、お米はめったに口に出来ませんでした。

蚕を上げる時期には、家の中がいっぱいになるので家族はあいている隅にかたまって寝た。養蚕は戦後まで続いた。(昭和24年)



横田基地の米軍残飯をドラム缶で貰ってきて、餌にした。鶏は具合が悪くなると首をひねって鶏鍋にした。豚も牛も処分する時は、涙ポロポロ流して泣くんです。(昭和5年卒)

夏季農繁期短縮授業(半日)もあった。(昭和20年卒)

戦争中は、「勤労奉仕農家」がありその農家に小学生の子供が手伝いに行くと、採れたジャガイモは食べ放題だった。(昭和19年卒)



昭和43年に日本で初めてブルーベリーの栽培が始められた。始めたのは昭和32年卒の島村さん!!



明治時代

大麦・小麦・稗

かんしょ
甘薯(さつまいも)

粟・お茶・養蚕

大正・昭和初期

大麦・小麦

かんしょ
甘薯(さつまいも)

養蚕

戦後

小平スイカ

秋作大根・白菜

うどん

昭和40年以降

うどん・梨

花・植木

ブルーベリー



大森の海水浴場で小平スイカを売った。小学生が内緒でスイカ下ろしのアルバイトで一泊して帰ってきたら騒動になった。(昭和14年卒)

新芽が出るとお茶摘みをするんです。自分の家で飲む分を蒸すところまで。(昭和5年卒)

お手伝いは



用水や井戸で水を汲むのは子供の仕事でした!

麦刈、麦踏み (昭和20年卒)

小麦でうどんを作り、冠婚葬祭には必ず食べていました!

川で洗い物をしていて腸チフスが流行った。(昭和24年卒)

学校に行く前には必ず、青梅街道をほうきで掃いた。(昭和28年卒)

服が破けると縫った。破れたままだとだらしなが、縫ったものはおおいばりで着ていける時代でした。(昭和28年卒)

味噌漉し (昭和28年卒)

お風呂焚き (昭和28年卒)

鈴木園にお茶の葉を持って行って小遣い稼ぎ。(昭和34年卒)



今のこどもたちは、買い物・風呂洗い掃除等をやったり、やらなかったり? 昔は、生活のためにお手伝いするのは当たり前だったんですね!

くまの幼稚園

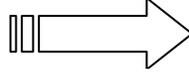
給食は無くお弁当時代

家で採れたものを食べていた。
日の丸弁当



さつまいも

麦飯の弁当が恥ずかしく、家が近い子は1時間の昼食の時間に行って家まで帰りまた走って学校に戻った。(昭和28年卒)



朝、焼いた餅を風呂敷で腰にくくりつけ冷めないように保温した(昭和24年卒)

二小の子供はどんな
昼食だったのかな？



“たからや”のパン時代



コッペパンとバターor ジャムで
15円だった。

朝、教室で先生の前に並び1人ずつ「パンにバターと牛乳」などと言って注文。昼近くになると“たからや”のお兄ちゃんが教室に持ってきてくれた。

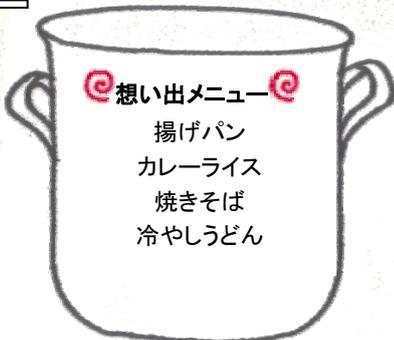
(昭和39年卒)

月ごんでてよとい表(前半)

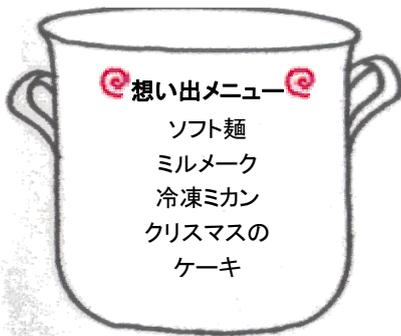
日曜	主食など	牛乳	おかずなど	赤	黄	みどり
4 火	ごはん	○	チキンカレーライス かりかり油揚げのサラダ くだもの			
5 水	パン	○	フ サラダ のみそ焼き みそ汁 くだもの			
10						
11						
12 水	しょうゆ焼きそば	○				
13 木	クリームチーストースト	○				

現在の給食の様子

昭和60年頃



昭和50年頃



容器はアルミで先割れスプーンでした。
(昭和50年卒)

今は、セレクト給食
バイキング給食
鍋給食があるよ



いつも、おいしい
給食をありがとう

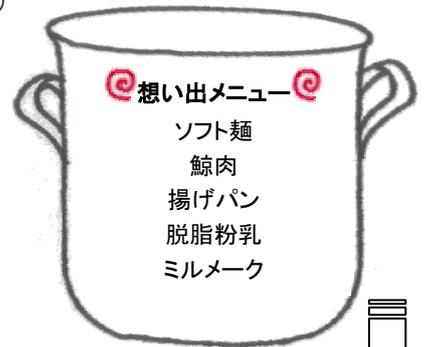
給食室より一言

今の子供は“もったいない”という言葉は知っていても、自分は嫌いなものは食べない、と言うのが昔の子供との違いだと思います。

牛のマークが
30本に1本
あったらしい？



昭和38年学校給食時代初期



昭和45年に生牛乳へ

清水乳業は小川西町の
グランドの所に牧場があった！

校外学習

- 1年生…遠足～航空記念公園、
- 2年生…遠足～昭和記念公園、
- 3年生…遠足～多摩動物公園、
- 4年生…遠足～日和山・巾着田、
- 5年生…遠足～高山不動尊、
- 6年生…移動教室～八ヶ岳、
- 若草…遠足～たけのこ公園、

- 生活科見学～小金井公園
- 生活科見学～狭山公園
- 社会科見学～小平市役所・ブリヂストン・ふれあい下水道館
- 社会科見学～中央防波堤最終処分場・ガスの科学館
- 社会科見学～東芝科学館・JFE スチール東日本製鉄所
- 音楽鑑賞教室～ルネ小平、
- 演劇鑑賞～日生劇場
- 宿泊学習～秩父、
- 体験学習～昭和記念公園

平成20年度の校外学習の行き先は？



一面が緑で、すごくきれい！
ソフトクリームもおいしかった。（平成19年卒）

八ヶ岳の林間学校、満天の星空に圧倒
感動した、あの星空は忘れられない。
（昭和61年卒）

6年生の伊豆ヶ岳遠足で男坂と、女坂の
2つのルートがあり、鉄棒で懸垂が出来たら
険しい男坂ルート、出来なければ女坂ルートと
いうテストがあった。（昭和54年卒）

潮干狩りに行った！親父も潮干狩りに行ったと
言っていた、なんでも電車に間違えて乗って
しまって、1人閉じ込められたので
次の駅で降りて線路を走って戻ってきたが
もう皆はいなかった。（昭和45年卒）



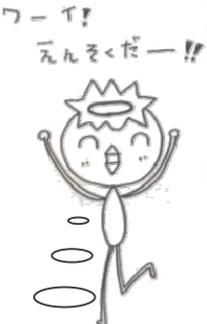
平成20年 八ヶ岳移動教室

箱根の遠足は日帰りだったな。（昭和45年卒）

昭和40年くらいまで臨海学校があったな大磯の
幼稚園の園舎に泊まった。（昭和36年卒）

遠足は貫井弁天に歩いて行った、集合が6時！
星が出ている時分から、家を出た。（昭和26年卒）

1年生の遠足は村山貯水池、2年生は多磨墓地へ海軍
東郷元帥のお墓参りに行った、3年生は井の頭公園と
決まっていたが太平洋戦争のため中止、臨海学校
修学旅行はなかった。（昭和20年卒）



思い出は
どこへ行ったときかな？

- 修学旅行(昭和3年頃～26年頃)
- 林間学校臨海学校始まる(昭和27年)
- 八ヶ岳山荘完成(昭和44年)
- 秋の遠足が無くなる(平成4年)
- 林間学校から移動教室へ(平成11年)



昭和51年 林間学校 八坂村



昭和40年 臨海学校 岩井海岸



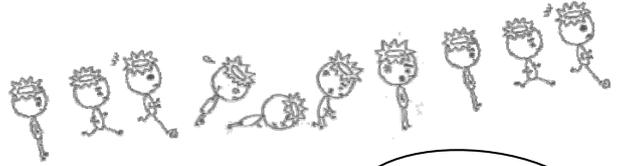
昭和24年 修学旅行 華厳の滝



うんどうかい



2008年9月28日(土)
80周年記念大運動会が
行われました!



平成17年より
3色対抗運動会
になった

児童入場 8:50~

開会式 8:55~

思い出いっぱい 夢いっぱい 笑顔いっぱい いつまでも...

- 旗本の旗
- 旗本・侍選手トロフィー・祝賀旗掲揚
- 学校旗掲揚
- 男子代表の旗 (7年生)
- 代表旗掲揚
- 旗本の旗
- 女子代表の旗



午前の部

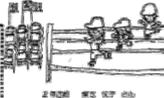
- 1 旗本旗掲揚
- 2 旗本旗掲揚
- 3 旗本旗掲揚
- 4 旗本旗掲揚
- 5 旗本旗掲揚
- 6 旗本旗掲揚
- 7 旗本旗掲揚
- 8 旗本旗掲揚
- 9 旗本旗掲揚
- 10 旗本旗掲揚
- 11 旗本旗掲揚
- 12 旗本旗掲揚
- 13 旗本旗掲揚
- 14 旗本旗掲揚
- 15 旗本旗掲揚

午後の部 12:45~

- 16 旗本旗掲揚
- 17 旗本旗掲揚
- 18 旗本旗掲揚
- 19 旗本旗掲揚
- 20 旗本旗掲揚
- 21 旗本旗掲揚
- 22 旗本旗掲揚
- 23 旗本旗掲揚
- 24 旗本旗掲揚
- 25 旗本旗掲揚
- 26 旗本旗掲揚

閉会式 14:45~

- 旗本の旗
- 旗本・侍選手トロフィー・祝賀旗掲揚
- 学校旗掲揚
- 旗本の旗
- 旗本の旗
- 旗本の旗



当日観・進行状況によってはプログラムの内容が変更される場合があります。



尋常高等小学校時代の運動会



体操着もこんなに
変わったよ!
平成15年から男子
体操着は、白短パン
から紺へ、今は男女
共に白シャツに紺の
ハーフパンツだよ。





毎年 10 月 15 日に箱根土地グラウンドで、1 小 2 小、3 小合同で行った。村を挙げての運動会でその時だけ花火が上がりました。団子屋などの店が出るのが楽しみでした。それとは別に学芸会と交互に東大和・清瀬・東村山・小平が集って東村山の化成校で合同運動会を行いました。
(昭和 7 年卒)

運動会には子供のいないおじいちゃんおばあちゃんも学校から呼ばれたんだから来てましたよ、もう地域のイベントだからね。
(昭和 30 年卒)



学校の運動会は楽しかった。学校の校庭で行っていた跳び箱は 10 段あった。
(昭和 20 年卒)

運動会で券を事前に入れて、うどんやおしるこが美味しくてね、お母さんたちが釜で作ってね。
(昭和 28 年卒)

足踏みオルガンしかなかったが、PTA が運動会でおしるこを作ったりしたお金でピアノを買った。
(昭和 28 年卒)

運動会の 1 週間前には 1 粒 300m だからグリコを 1 箱買ってくれとねだった。
(昭和 28 年卒)

二小の校庭で運動会があった新田対抗のリレーがあったよ！

小川新田、鈴木新田、大沼田新田野中新田の 4 つ、高等科の人もいて高等科の人は普段は着物の下にズボンを履いていたよ。運動会？運動会の時は、裸に裸足パンツ一丁で走った。
(昭和 23 年卒)



父母による綱引きで綱が切れて、開校したばかりの学園東小学校から急ぎよ綱を借りたことがあった
(昭和 54 年卒)

はだし足袋がまだ使われていました！(ごく少数ですが)ホソヤさんで買いました、ハチマキ、チョウチンブルマーハダシタビ、運動会と言えばこれです。
(昭和 49 年卒)



運動会前といえば、たからやが小さい釜をだして、甘茶をふるまっていたの。
(昭和 30 年卒)

運動会と言えばリレー、徒競争騎馬戦、棒倒し、フォークダンス大玉転がし、二人三脚、高学年になると組体操。
(昭和 45 年卒)



運動会前といえば、校庭の小石拾い。
(昭和 50 年卒)

地域対抗リレー

43 年度卒業生が作詞した二小音頭にすいかの種まきから収穫までの様子を 80's が振り付けて踊ったよ！



♪♪♪ 二小音頭 ♪♪♪

歌詞 昭和 43 年度卒業生
作曲指揮 佐伯 寿一
うた 伊藤 坦
演奏 小平第二小学校 音楽部

みんな仲良く手をつなぎ
みんな仲良く手をつなぎ
それ 手をつなぎ 手をつなぎ
二小音頭を 二小音頭を 踊ろうよ

みんな元気に声合わせ
みんな元気に声合わせ
それ 声合わせ 声合わせ
二小音頭を 二小音頭を 歌おうよ

みんなそろって輪を作ろう
みんなそろって輪を作ろう
それ 輪を作ろう 輪を作ろう
二小音頭の 二小音頭の 輪を作ろう



二小音頭玉入れ



風景＊自然



サンコウチョウ

♪ **サンコウチョウ** は『イーチッチ、モーチッチ、サンコウチョー、ハイホイホイ』って鳴く。他にコジュケイ、フクロウ、カッコウにカワセミ。泉蔵院の裏を流れている堀に巣を作っていた。(昭和7年卒)

♪ 一中の体育館のところは **公園** だった。約1000坪ぐらいあるすばらしい公園 だった。桜がいっぱい咲きまして。(昭和5年卒)



♪ 春になると学校の周りの **麦** は背丈が1メートル以上も伸びて、子供が柵の中に入っても見つかりません。真っ青な麦に穂が付き、実ってくると金茶色になり、リンとします。(昭和28年卒)

用水＊たから道＊井戸

♪ 昔は回田通り西沿いに **天井川** があって、土が崩れないように茅が植わってまして、蜚がすごかったです。夜になるときれいで。(昭和23年卒)

♪ 豆腐屋さんに **釣瓶井戸** があった。中を見るとキラキラ光ってて、ひっぱりこまれそうでこわかった。風呂はもうみんな川の水だった。(昭和20年卒)

♪ 水浴びしたくなると、**川** (用水)を堰き止めて水を溜めて、そこで水浴び。みんな真っ裸で入って、そのまま青梅街道に出てた。川にはどじょうが渦巻いていた。よく食べたよ、どじょう鍋。(昭和26年卒)

♪ **たから道** を近道して帰った楽しい思い出があります。遊ぶ時など「タカラに行ってくる」と言って出かけた。(昭和28年卒)

風習＊文化

♪ **子供会** が活発で四季折々の行事がありました。餅つきがあったよな。(昭和52年卒)



♪ 4月8日が **花祭り** なので、6クラス全員で、泉蔵院の甘茶目当てにお参りをした。そして山林(現在の錦城高校)でお弁当に作ってもらった草まんじゅうを食べたりしましたね。(昭和28年卒)



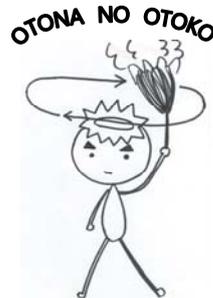
♪ **七つの「帯解」**(おびとき) にはリヤカーで、朱塗りの桶に鏡餅を入れて親戚に配るんです。赤5つ、白5つぐらいだったのかな。(昭和21年卒)

♪ **熊野宮の秋祭り** の日は、朝からピーヒャラドンドン 勉強どころではありませんでした。それで先生はお昼でおしまあーい、と言って。(昭和28年卒)

♪ 大沼田稲荷神社に、ナスなど初物をお供えしていた。**毎月1日、15日は清掃** をしていた。(昭和20年卒)

♪ 盆には青梅街道で **迎え火** で、大藁(わら)の束に火をつけてぐるぐる回していた。子供用のもある。しっかり硬くて、縄をつけて。子供にとってみれば憧れだった。大人の男になるステイタスだったというか。(昭和36年卒)

♪ 小平駅前・太陽広場の **盆踊り**。(昭和54年卒)



地域あれこれ

♪ 青梅街道で杉の枝を細かく飾ってアーチにして、**御大典記念**で部落の人が全部そこに写ってる写真がありますよ。(昭和20年卒)



昭和3年 御大典記念

♪ 昭和6年は **新嘗祭** で小平が粟を献上する番で、瀧島校長先生に連れられて二小から2名、式典に出席した。(昭和7年卒)



昭和6年新嘗祭 小川にて

♪ **皇太子御降臨** の際、高等科の2年生で当時の瀧島晴吉校長先生に連れられて、役場まで行き、宮内庁への御祝賀の障子紙に名前を連ねた。(昭和7年卒)

♪ 丸井の研修館のところには **大鵬寮** とうい拓大一高の寮があり、下駄の一本歯に、羽織、白い紐で、颯爽と歩くのが定番だった。(昭和7年卒)

♪ **バキュームカー**の強烈な臭い…。(昭和50年卒)

♪ **町制祝い** に一中に二小から代表者が踊りに行った。着物を着て花嫁人形という踊りを踊ったのをよく覚えている。(昭和24年卒)

♪ **電車** から落ちた人が、線路を走って、追いかけて間に合ったりね。こっちの駅で乗れなかったら次の駅まで走れば間に合ったとかね。そのぐらいのろいの。(昭和30年卒)



道具*学用品*授業



♪ 蓋が開く机でした。
(昭和 5 年卒)

♪ 理科で自分で持っていったカエルを解剖。(昭和 28 年卒)

♪ 音楽室には一人一人に机を兼ねたオルガンがあり、家庭科室には足踏みミシンがあった。(昭和 54 年卒)

♪ 「マイ地球儀」があって球体にシールを貼ると、日付変更線あたりで辻褃が合わなくなる。(昭和 45 年卒)

♪ 竹の生えている家で切り出して、肥後守(ひごのかみ・折り畳み和式ナイフ)で竹とんぼを作った。(昭和 28 年)

♪ 1年生の頃は、ピアノがなくて、足踏みオルガンがひとつだけあった。
(昭和 28 年卒)



♪ 教科書は、ミノ、カラカサ... ちりぬるをわか、なんてね。
(昭和 5 年卒)

♪ 教科書は 並んで 買ったんだよ。あなた、まさか無償の時代?
(昭和 30 年卒)

♪ 50 周年の時に 岩石学習園を作ったんです。先生は替わられる。だから地元の人をひきこんで作れば、壊してしまおうという時に抵抗してくれるんじゃないか、ということまで考えられていたんです。石を多摩川の上流・中流・下流の 3 箇所にて採集しに行きました。(昭和 28 年卒)

♪ 二人でひとつの木の机で、穴に消しゴムのカスを詰めて、鉛筆でつついて固めた。
(昭和 45 年卒)

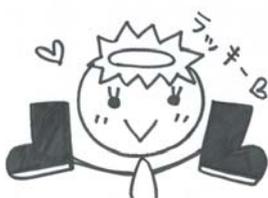


服装

♪ セーラー服は中学の制服でわけじゃなくて、いろいろお下がりでまわってきたものを普段に着ていたよ。履物は下駄ね。
(昭和 23 年卒)

♪ ステンカラーの洋服の上におふくろさんが縫ってくれた半纏を着て行った。鼻垂らしてるやつばかりだったから半纏の袖はみんなピカピカだった。(昭和 26 年卒)

♪ 長靴はメーカーから学校で特別割当で買えたら、クラス抽選で3・4人しか当たらなかった。外れた子は雨の日でも下駄だった。(昭和 28 年卒)



あやつ?!

♪ 桑の実を「どどめ」と言う。親に疫病になるから食べるなど言われていたが、食べると口の周りに紫に染まる。ポケットに入れて、ポケットも染まる。それでも食べてないと言い張った。
(昭和 28 年卒)

♪ 殻ごと茹でるピーナッツとその汁の美味しいこと!
(昭和 36 年卒)

♪ カミキリムシの幼虫を食べた。薪を割って寝かせておくと虫がでてくる。肥後守で作った竹ひごであぶって食べた。ほろ苦い味だった。このへんの子供はたんぱく質不足だった。(昭和 28 年卒)

♪ 風邪ひいた時の楽しみは、バナナと森永キヤラメルがもらえること。
(昭和 28 年卒)

学校あれこれ

♪ 瀧島校長先生の「他人の飯を食わねば、一人前にならない」という言葉がずっとこびりついていた。(昭和 7 年卒)

♪ 校長先生が朝礼中に、台から降りたところで倒れ、亡くなられた。私は一番前にいて、とてもショックだった。(昭和 20 年卒)

♪ 学校ぎりぎり起きるなんてことはしなかったですよ。遅刻なんてことは、ものすごくイヤなことなんです。(昭和 28 年卒)

♪ 一小二小三小 合同の野球大会があったんです。もちろん各学校対抗でやるんです。それで二小が優勝したんです。
(昭和 28 年卒)

♪ 夏場の 二部授業 っていうのがイヤなんです。午後の勉強っていうのが。夏場が一番暑い時に出ていくわけですから。(昭和 28 年卒)

♪ 4 年生になるとサラリーマンの人、都会の人がきた。カルチャーが違った。弁当だって、それまで平気で芋を持って来ていたところに、急にデラックスな弁当 持ってくるんだから。もう隠して食べてた。
(昭和 36 年卒)

♪ 臨海学校 には電車で行ったと思いますよ。このへんはプールも何もないんですから。泳いだ記憶とその時に一緒にいた人が「女性の海水着を生まれて初めて見た。」っていまだに言ってますよ。(昭和 28 年卒)



♪ 石炭ストーブ に火をつけるのが大変なんです。紙から小枝を燃やして小枝が石炭につくまでが大変なんです。石炭に火がうつったら暖かいんです。そういうことを子供たちが当番でやりました。(昭和 28 年卒)

♪ まんなかの 板張りの校舎をぶちぬいで、学芸会。子どもにきれいに床掃除させてね。そこに舞台をつくって。クラスごとにふたつかみつつ演目を出すの。私はいつも日本舞踊。(昭和 30 年卒)



みーつけた



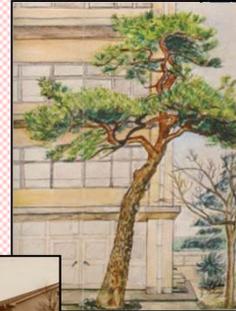
見守りの木 松 & イロハカエデ

kawaranaimonomo arundayo

開校してから小平二小を80年見守ってきたのは松だけではないことがわかりました。交流室前のイロハカエデも開校当初からあったようです。松は旧正門の東側にありました。昔は通学区域が非常に広がったため、遠くから通学する子供たちは、この松が見えてくると「学校までもうすぐだから、がんばろう！」と励まされたといひます。50周年記念の学芸会の「二小物語」では、このエピソードがシナリオにもとりあげられました。又、開校を控えた昭和3年頃に、小平一中にあった松を荷車に載せて持ってきたという話もあります。イロハカエデは校舎増築の一部始終、50周年記念の石碑建立や岩石学習園・昇降口だった場所が交流室になるのを間近にずっと見てきた木です。



現在の松



50周年記念誌より



昭和37年頃。

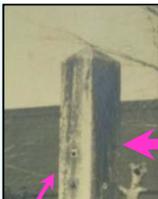


交流室前のイロハカエデ



昭和10年頃の正門を校庭西側から臨む

旧正門の門柱は今？



昭和37年卒業アルバム向かって右側の門柱



青梅街道と新小金井街道の



右上の白黒写真に写っている旧正門の門柱は、なんと現存していました！
現在は二小の卒業生であり元小平市長でもあった故 瀬沼永真氏(昭和4年卒)のご実家であった延命寺の門柱となっています。

門柱の横幅から計算すると、当時は台座を入れて高さ4メートルを超える立派な門柱だったことがわかります。上の白黒写真の左側のフェンスのように見えているのは肋木(ろくぼく)です。延命寺の門柱のアップ写真に写っている正面の白い部分は、学校名の書かれた木札が架けられていた釘跡です。側面の釘跡・石の模様から延命寺の門柱は、当時とは左右が入れ替わっていることがわかります。この門柱が村役場(現在の仲町公民館)から二小に持ってこられたのでは？という話もあります。野中の分校にも同じような門柱がありましたが、現在どこにあるのかは不明です。

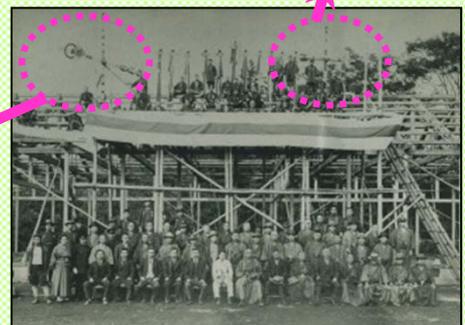
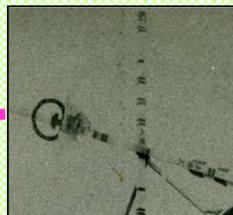
棟上式の破魔矢

(はまや)

ふるさと資料室開室に際し、小平市教育委員会のご協力で、展示用に民具庫のものをお借りしました。その中に二小の上棟式で使用されたという柱らしきものがありました。これを昭和3年の上棟式の写真と照合させると、これは柱ではなく、上棟式に飾られる一対の破魔矢の一本であることがわかりました。お借りした一本には亀が描かれていましたが、もう一本には鶴が描かれているそうです。鶴の矢は鬼門である北東を指し、亀の矢は裏鬼門である西南を指しています。



ふるさと資料室に展示された亀の矢





仲町公民館は昭和39年開館。以前は、市役所庁舎だった。

⑧ 天神しらかし公園

熊野宮の薄暗い道での度胸試し。(昭和53年卒)

駅がなかった
東小平駅 昭和15年～29年
本小平駅 昭和3年～24年



〽️ 天井川が道より上を通っていた。

⑦ あじさい公園

校門前でヒヨコを売ってました。(昭和59年卒)

「ニ小北」と呼ばれ放課後に集合してよく掛けりとかしました。(平成9年卒)



⑨ 旭の森公園

通称「傘ババ」宇宙からの電波を傘で防いでいるという人が出現した?

赤い自転車に乗り「レッドバロン」と声をかけるときを振る人が出現した?

① ニ小北公園

たからや

学園東小学校は火田だった。学校が建設する間の空地にひっそりとしたとき野球をした。(昭和52年卒)

学級で使う用品はクラス単位で買いにきて、学級費で集めてそれを売った。並んでコッペパンを買いにきていた。(昭和30年卒)

よく卓球をしました。地域センターは他の小学校の子供も遊びに来るからよく試合もしました。(平成10年卒)

野球は仲町第2公園で(昭和53年卒)

④ 太陽広場

(現在、駐車場)

小平団地の公園 1街区、2街区、3街区、3街区まで行くとすごい遠出した様に思っていた。(昭和54年卒)

② 天神地域センター



③ 仲町第2公園

謎のおじさん「もんちょうしろう」子供たちが遊んでいると、名前を言って近づき、知っているかたすねてくる。遊びの中に入って邪魔される?

⑩ むさしが丘学園は以前、あけぼのグラウンド。その昔、練兵場

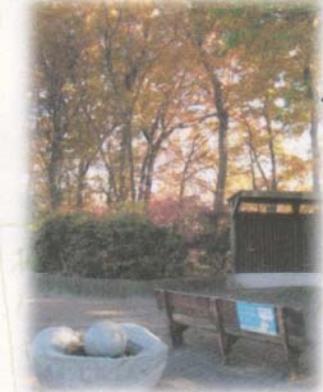
盆踊りがあった。小平団地 太陽広場、鈴木商店街、小平駅前

野鳥公園は以前、雑木林だった。木登り、基地建設をして遊んだ。(昭和50年卒)

銭湯があった!! 「よまれ湯」「鶴の湯」「光湯」

学校からは、今の一中が見えてました。鉄棒に手をかけて、富士山はもとより「揺か丹沢や秩父連山か」見通せました。(昭和28年卒)

チャイムが鳴ったら帰ろう〜



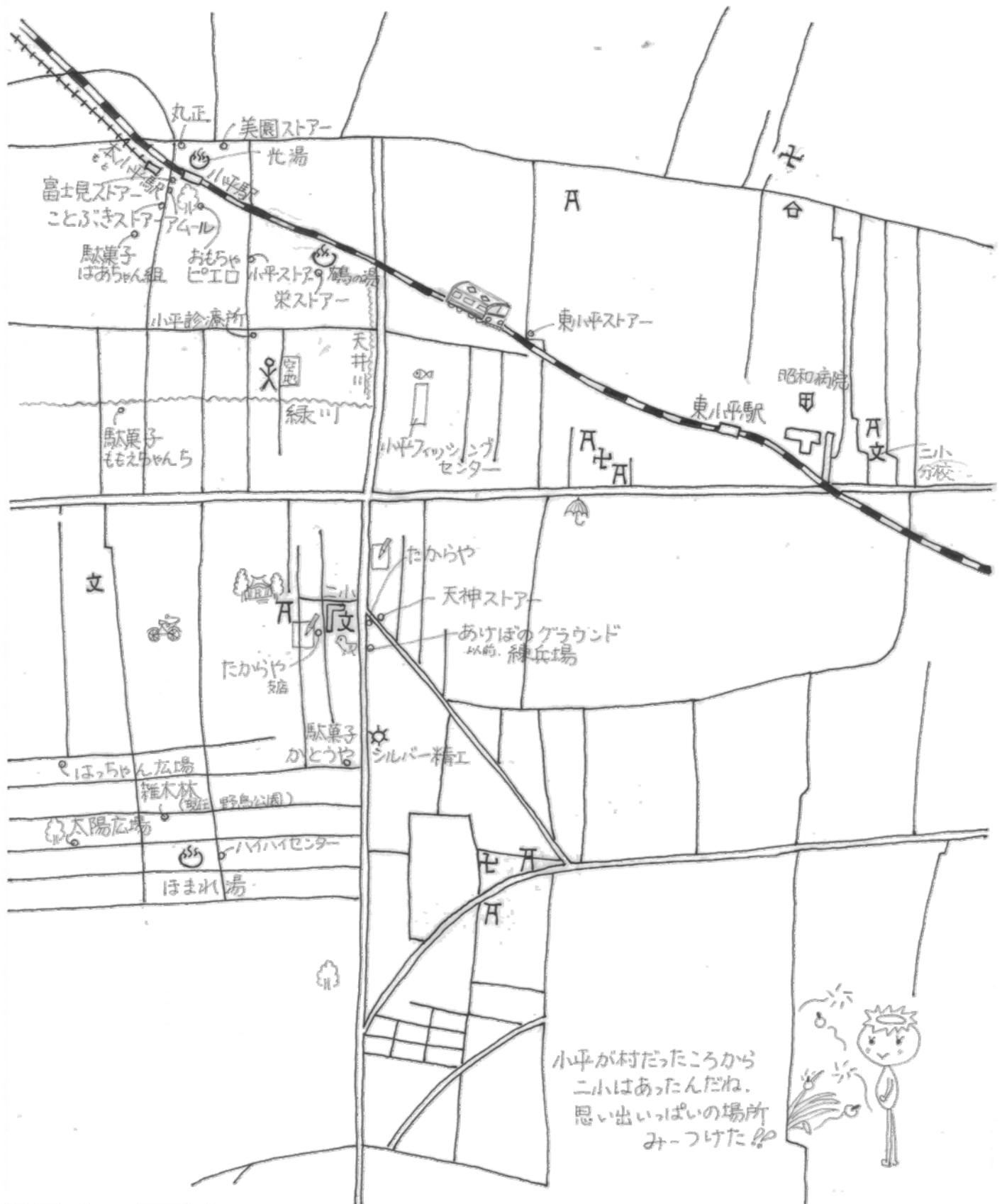
⑥ 学園野鳥公園



⑤ あかしあ児童公園



小平第二小学校校庭

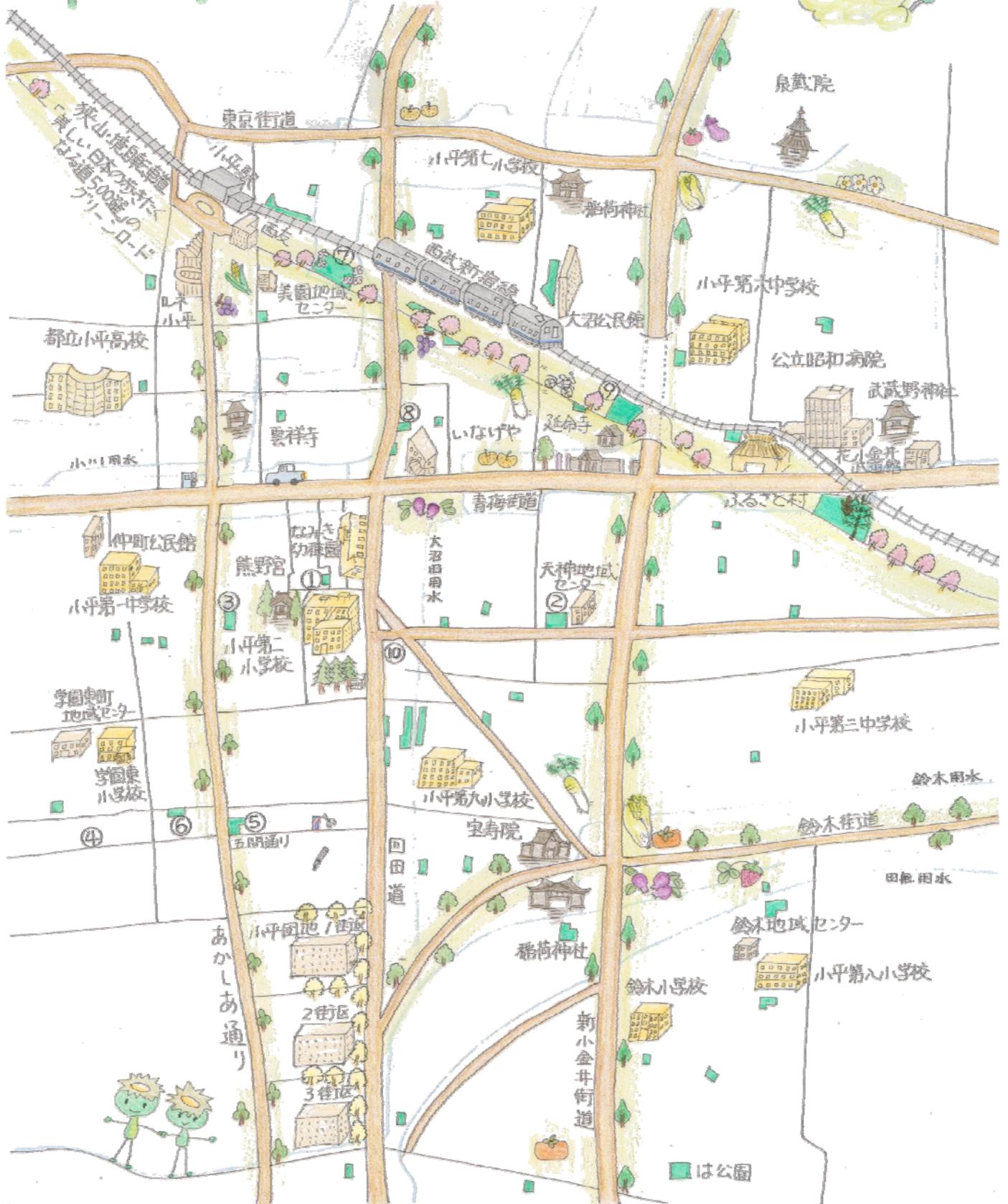


小平が村だったころから
 ニ小はあったんだね。
 思い出いっぱい場所
 みつけたね



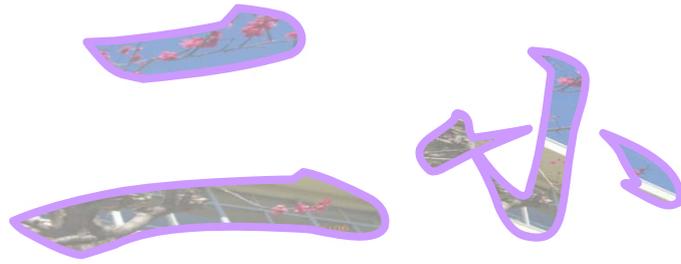


も～い～かい？ ま～だだよ～





<現在の校庭西側>



昭和33年の2階建て校舎に
ひき続き、昭和34年モルタル
2階建て校舎が現在の
体育館の場所にできました



校庭西側に移設された
木造平屋校舎
この校舎は長く若草教室として
使用しました
中央のタイサンボクが

昭和47年から48年は迷路のように
渡り廊下がいっぱいでした
プールの後ろにも
長い渡り廊下がありました



左の写真は昭和28年度
開校25周年記念の航空写真
校庭東側にうっすらと見える
昭和26年3月卒業記念植樹の
ヤマザクラは今もとても見事です

昭和39年の東京オリンピックの
聖火リレー
場所は青梅街道、関根屋(仲町図書館東)の信号
多くの子供たちも見学しました



昭和34年のモルタル2階建て
校舎の建築風景
現在、なみき幼稚園の
園庭となっている畑から撮影

今昔



<校庭西側木造校舎 昭和47年頃>



昭和28年3月の卒業アルバムより
東側麦畑から正門を撮影
正門は現在もある松の
北側にありました
御影石の門柱も見えています

野中の分校(分教場)
現在の花小金井武道館の
駐車場付近
校庭には土俵がありました
(昭和36年6月撮影)



*



昭和30年代前半の
熊野宮の参道
両側とも竹やぶで非常に暗く、
子供たちだけでここを通るのは
昼間でも怖かったそうです

昭和47年3月の卒業アルバム
より通学風景
場所はドラえもん(西門)を南下し、
西に曲がったところ



昭和50年3月の卒業アルバムより
体育の授業風景
体育館もありましたが、マット運動を
校庭でしています
現在のグランスクエア帯は

回田通りと五間通りの交差点
西を臨む。昭和38年撮影
昭和30年代、学園地域の
人口が急激に増えました



今、この場所、この瞬間。

2008年の小平二小



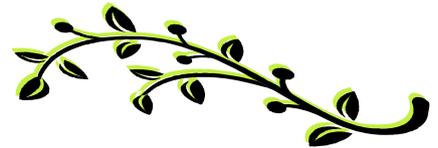


かがやけ
第二小学校





歴代校長



初代 滝島 晴吉
 2代 芽根 清次郎
 3代 増尾 次郎
 4代 小口 盛雄
 5代 柴山 惣一
 6代 川口 治男

7代 坂東 茂
 8代 島田 佳平
 9代 椎名 恵之亮
 10代 大島 祐一
 11代 中川 瑞穂
 12代 石垣 安義

13代 二井 淳夫
 14代 近藤 福次郎
 15代 飯田 方雄
 16代 野村 みや子
 17代 山下 敏夫



平成20年度、小平第二小学校開校80周年(創立136年)の記念の年に児童集会、記念式典、祝賀会を行い、皆様と喜び合えたことは最高の幸せです。「思い出いっぱい夢いっぱい笑顔いっぱいいつまでも」の児童集会のことばを唱和し、さらなる小平二小の発展と皆様のご多幸を願っております。

小平二小の発展は、小平の開拓から戦前の苦渋、戦後の復興と重なります。その都度の周年の記録から、人々の思いや願いを強く学んできました。80周年のこの冊子も、同窓会の輪の連なりとPTAのエネルギーあふれる創意と和と実働の実りから産まれました。現在を伝えるすばらしい記録を皆様の思いと共に後世に残してまいります。

校長 原田 美知子



歴代PTA会長



初代 吉田 艸楽
 2代 大久保 泰一
 3代 中野 真輔
 4代 福井 幸次
 5代 鈴木 重雄
 6代 佐藤 英雄
 7代 岩淵 重蔵
 8代 荒武 進太郎
 9代 岡田 久義
 10代 吉田 実

11代 高橋 一雄
 12代 窪田 修幸
 13代 石森 照雄
 14代 石川 勲
 15代 中野 豊
 16代 並木 弘
 17代 吉田 聖
 18代 藤木 富男
 19代 窪田 治
 20代 長江 弘晃

21代 比留間 健治
 22代 並木 文雄
 23代 比留間 眞悟
 24代 星野 守
 25代 吉田 照好
 26代 窪田 尚巳
 27代 中島 仁
 28代 内野 一男
 29代 高良 恵子
 30代 麻田 玲子
 31代 池田 葉子



この136年の間に、沢山の子供たちがこの小学校で学び、遊び、多くの友人を作ったと考えると、それぞれの時代には、何があったのか？その時代の背景は？そこでPTAでは、小平第二小学校の歴史を紐解いてみることにしました。同窓会、地域の方々のお話を聞き、昔の写真をお借りしました。また、市役所、図書館での資料調査、歴代のPTAが調べた資料、他校の歴史資料など、沢山の資料を基に、今回この記念史誌を作成してみました。改めて小平第二小学校が地域の皆様に愛されていたか、そしてこの学校に通う子供たちが大切にされてきたか、如何に素晴らしい学校であるかを再認識致しました。この記念史誌を、これからも続く小平第二小学校の歴史の1ページとして残せた事は大変嬉しく、誇りにしたいと思います。

最後に、この歴史的な年に会長職に就かせていただいたことを、心より感謝致します。

80周年記念事業実行委員会



実行委員会委員長
小川 俊一

この一年は、記念行事などで二小の元気な子供たちの顔を見る機会が多く、嬉しく思いました。

学校関係者の方々やPTAの皆様のお力により、記念の年が皆様にとって良い思い出になることを、感謝を込めて願っております。



実行委員会事務局長
窪田 尚巳

いくつもの行事の中で、学校・同窓会・地域の連携をとることができました。また、学校をはじめ地域やPTAの方々のご協力があり無事にこの一年が終えられたことを心より感謝しております。



同窓会会長
並木 文雄

記念式典・祝賀会では、たくさんの同窓生や地域の方々が、それぞれの年代の母校の話に花を咲かせ楽しんでくださいました。これも皆様のご協力によるものと感謝いたします。これからも二小の発展と共に同窓会の発展を願っています。

井上昭子 内野一男 海上玲子 糟谷礼子 金子サト 竹内誠一郎
谷口信子 中村正男 比留間眞悟 福島浩幸 麻田幸広 (PTA本部役員)

80's PTA周年行事委員

はじめは戸惑うことばかりでしたが、行事を重ねるうちに自分自身が小学生の頃に戻ったように楽しむことができ、かけがえのない時間を過ごすことができました。

金子 里子



周年行事として様々な活動を行いました。風船は各地に飛んで行き、たくさんの返事が届きました。児童の皆さんの心の中に良い思い出として残ってくれば嬉しいです。

田代 ますみ

母校のルーツに迫ったこの一年は楽しかったです。二小の子供たちへ。「文奮」は「ぶんよ」と読むんだよ。大きくなったら、またゆっくり読んでください。

砥上 美也子



難しいことも大変なことも、仲間の笑顔と子供たちの笑顔で頑張れました。ありがとうございました。

萩原 由利子

80周年という記念の年に子供が在籍できたこと、またPTAとしてお手伝いに参加できたことに感謝！忘れられない楽しい思い出をありがとうございました。 水上 京子



記念行事の一端を担うことができ、大変うれしく思っています。今までやってきた1つ1つが先々までよい思い出となることでしょう。

青柳 清美



50周年記念の時に風船を飛ばした私が、80周年で母としてこの仕事のお手伝いのできたことを感謝します。

次は孫と一緒に風船を飛ばす日が来ることを楽しみにしています。

松井 早苗

子供たちが思い出に残る年になりますように・・・。そんな思いで頑張ってきました。風船が飛び立ったときの、子供たちの笑顔と歓声は忘れません。

山本 美重



二小に縁のある方々や子供たちのたくさんの笑顔を手伝いの一端に触れられたことを嬉しく思い、感謝しています。

谷口 薫

80周年にあたりPTAでは、周年行事を中心に活動する特別委員会(80's)を立ち上げました。お揃いのグリーンのTシャツ姿で走り回り、毎日が手探りの活動でしたが、たくさんの保護者のご協力と地域の方の温かいご支援を受け、子供たちのあふれる笑顔を見ることができました。

また、風船につけたメッセージには、全国の方々から子供たちへのエールに勇気づけられ、記念すべき年に子供たちと同じ喜びを経験することができた私どもPTAの絆も、より深いものとなりました。

たくさんの方々との出会い、地域のつながりに、喜びとやさしさが胸にのこりました。ご協力ありがとうございました。

80'sリーダー 石橋真純

年号	元号	小平二小に関わる記事	世の中の様子
1654	承応3		玉川上水開通。
1716	正徳6 享保元	小川新田の熊野宮で、二代采女の時代に寺子屋が開かれる。	享保の改革。翌年、鷹狩り復活。
1724	享保9	小川新田、野中新田、鈴木新田、大沼田新田開発許可。	
1808	文化5	野中新田の高橋家、寺子屋を始める。	
1868	慶應4 明治元	小川・小川新田・回田新田が蕪山県に、ほかの新田は品川県に編入。	明治維新。翌年、廃藩置県。 江戸が首都となり、東京となる。
1870	明治3	1月 御門訴事件。野中新田与右衛門組名主、高橋定右衛門獄死。(高橋恭寿氏の父)	
1872	明治5	8月 学制公布。小平の寺子屋を全て廃止。	小平市は全域神奈川県に編入。
1873	明治6	協同学舎・文奮(ぶんふ)学舎・樞玉学舎、新念学舎設立。 二小の母体である 文奮学舎は高橋恭寿氏屋敷内に設立。(野中新田与右衛門組426番。)	徴兵令・地租改正。
1875	明治8	協同学舎と樞玉学舎は、小川学校と鈴木学校に改称。 文奮学舎・新念学舎はそれぞれ、文奮学校・新念学校と改称。	
1876	明治9	文奮(ぶんふ)学校、泉蔵院に移転。	翌年 西南戦争。
1878	明治11	5月、 文奮・鈴木・新念学校の三校を合併、集成学校開校。 野中新田に校舎新築を神奈川県に願ひ出る。 11月には新校舎建設の予定が、地租改正による負担増と物価高により計画中止。	
1879	明治12	8月 文奮(ぶんふ)学校、高橋熊太郎氏屋敷に移転。	天璋院篤姫死去。鹿鳴館開館。
1880	明治13	2月 小学校補足金が集成校に宛てて下げ渡される。 6月 集成学校の学校分離伺いが神奈川県令宛てに提出され、集成学校は閉校。 10月 新念学校は新念小学校へ、 文奮学校は校名を野中小学校と改称。 校舎焼失。 野中小学校は一時弁天堂に移った。その後、高橋林三郎氏宅で移転授業。	10月 廻田新田の桜蔭学校開校。
1883	明治16	校舎を野中新田与右衛門組463番地に新築。 (現在の武道館・昔の公民館分館の場所。)	廻田新田の桜蔭学校廃校。
1884	明治17	4月8日 大沼田新田 新奮学校設立。	2年後、小学校4年制義務教育へ。
1889	明治22	町村制施行により7村が合併し、小平村誕生。町村廃合により「 第二小平小学校 」と改称。	東京市制。熊野宮書院に村役場設置。 大日本帝国憲法発布。
1890	明治23	10月 教育勅語発布。(四大節に儀式・校長奉読・勅語の訓示の義務を規定。)	各部落に「青年」という組織。
1892	明治25	4月17日 野中小学校・鈴木小学校・大沼田新田の新奮小学校を統合し、「小平村立第二小平尋常小学校」に改称。	小川小学校は第一小平尋常小学校、 新念学校は第三尋常小学校、桜樹学校 校舎は第四尋常小学校と改称。 三多摩東京府移管。君が代公布。
1893	明治26		川越鉄道(現西武鉄道)の国分寺、東 村山間開通。日清戦争開始。
1894	明治27	12月 第2教室増築、落成。	三多摩東京府移管。君が代公布。
1904	明治37	7月5日 小川新田379番地(後の第4代村長、小野房次郎氏宅の蚕室)に小平高等小学校 創立。 高篠三四郎氏が小平高等小学校校長に就任。	小学校国定教科書使用開始。 2月 日露戦争開始。
1906	明治39	1月1日 校舎新築により小平高等小学校を現在の小平第一中学校の地(小川新田506番地)に移転。	明治40年、それまでの尋常小学校の義務年限4年を6年に延長。
1909	明治42	第三小平尋常小学校と小平高等小学校を合併し、小平村立小平尋常高等小学校と改称。 (現在の小平一中の地。)小平高等小学校の職員全部小平尋常高等小学校に改任。	第四尋常小学校、第三尋常小学校と 改称。第一小平尋常小学校新築。
1910	明治43	10月 小学校に 実業補習学校開設。 第二小平尋常小学校内に 第二小平実業補習夜学校、小平尋常高等小学校内に、小平実業補習夜学校設置。	
1912	明治45 大正元	小平の尋常科の授業料徴収が実質上撤廃。	仲町公民館の場所に村役場設置。 明治天皇崩御。
1913	大正2	12月1日 小平女子補習会を小平高等小学校に設置。	翌年 第一次世界大戦起こる。
1915	大正4	10月 御大典記念として、第2教室南側に飲用水用の井戸設置。	小平村に初めて電機供給。
1917	大正6	実業補習夜学校はその名称から「夜」が削除。 4月17日 小平実業補習学校が小平尋常高等小学校に併設。 11月16日 実業補習学校規定に基づき、第二小平実業補習学校を第二小平尋常小学校に設置。	前年、小平村に初めて電話開通。
1923	大正12	4月4日 新築落成式。 (小平建設による。新校舎は3教室。) 9月1日 夏蚕の上ぞく中、 関東大震災。 (この日は始業式・物日だった。)	何名かの先生は円成院の庫裏に寄宿。
1924	大正13	実業補習学校が農業公民学校と改称。 (第二小平実業補習学校は第二小平農業公民学校へ、小平実業補習学校は小平中央農業公民学校(現一中の場所)へ改称。) 12月1日 第二小平尋常小学校の 実業補習学校に女子部を併設。	小平学園60万坪の買収開始。
1925	大正14	12月 小平実業補習学校を中央小平農業公民学校、第一から第三実業補習学校を第一から第三農業公民学校と改称。各校とも通年制をとる。	村山貯水池(多摩湖)竣工。NHK放送開始。小平学園土地分譲開始。
1926	大正15 昭和元	6月 青年訓練所(修業年限4年)が設置。小平村立第一から第三青年訓練所と小平村立中央青年訓練所が、それぞれ第一から第三小平農業公民学校と小平中央農業公民学校へ併置。後にこれらの訓練所は昭和4年～9年頃までに、小平中央青年訓練所に統合。	12月25日 大正天皇崩御。
1927	昭和2	小川新田の尋常高等小学校を廃止し、小川・野中・回田の尋常小学校に高等科併置という高等科3校案がもちあがる。結局、小川・野中の2校案へ。更に野中校の誘致問題。	2月7日 大正天皇の御大葬。4月 西武鉄道小平駅開業。
1928	昭和3	昭和天皇の御大典記念。小平尋常高等小学校でも御大典記念の記念撮影多数。	4月国分寺・萩山間 11月萩山・本小平間多摩湖鉄道開通。本小平駅開
1929	昭和4	現在地(小平村小川新田310番地)に校舎新築落成。小平尋常高等小学校(現一中の敷地・小川新田520番地)と第二小平尋常小学校(野中与右衛門組463番地)の二校を合併し、「小平村立第二小平尋常高等小学校」として1月8日に開校。 初代校長瀧島晴吉氏。この日をもって本校の開校記念日と定める。第二小平農業公民学校併設。第二小平農業公民学校には第二青年訓練所が併設。現一中の場所にあった小平中央農業公民学校は小平尋常高等小学校廃校に伴い、廃校。	4月 北多摩郡昭和病院開業。 翌年 昭和病院焼失。
1932	昭和7	翌年から分教場として、また野中の校舎が復活することとなり、校舎大修理。	5・15事件。小平村、税の滞納問題。
1933	昭和8	4月1日 野中新田与右衛門組463番地に分教場設置。 皇太子殿下御降誕奉祝記念遠足。	国際連盟脱退。
1935	昭和10	4月1日 青年学校令公布。三つの農業公民学校すべてと青年訓練所が廃止。	9月 小平村立小平青年学校、現在の 一中の場所に開校。
1936	昭和11	4月 学級数増加(尋常科9、高等科4)に伴い、二部授業を実施。	2・26事件。

年号	元号	小平二小に関わる記事	世の中の様子
1939	昭和14	4月 旧校歌制定。(作詞・瀧島晴吉 作曲・山本正夫) 9月1日 全国一斉に「興亜奉公日」開始。朝の神社参拝、日の丸弁当を持参など。	西武多摩湖線 厚生駅(現福祉会館周辺)営業開始。第二次世界大戦。
1941	昭和16	卒業記念として、大太鼓寄贈受ける。 4月1日 国民学校令施行により、東京府北多摩郡小平村立小平第二国民学校と改称。戦局が厳しくなるにつれ、学童に勤労奉仕が割り当てられる。	前年、紀元2600年の勅語。太平洋戦争始まる。
1942	昭和17	1月 興亜奉公日が「大詔奉戴日」と改称。国旗掲揚、君が代吹奏、宮城遥拝、詔勅・勅語の奉読、御真影の奉拝など規定。児童生徒の日の丸弁当は引き続き実施。 4月1日 公民学校併設廃止。学級数増加(初等科10、高等科4)に伴い、二部授業実施。 4月20日 第2代茅根清次郎校長、全校訓練講習中、発病急逝。 6月5日 茅根清次郎校長学校葬。	9月 東小平駅営業開始。 この年・・・陸軍経理学校、小川新田(喜平町)に設置。 参謀本部特殊無線通信所、花小金井4丁目に設置。
1943	昭和18	7月1日 校名を「東京都北多摩郡小平村立小平第二国民学校」に変更。	小川東町に陸軍兵器補給廠分廠。
1944	昭和19	2月11日 小平町制施行により、「東京都北多摩郡小平町立小平第二国民学校」と改称。 4月1日 学級数増加(初等科11、高等科4)に伴い、二部授業実施。8月 学徒動員発令。 12月3日 小平に初めての空襲被害発生。二小の児童と家族の計2名が死亡。	東京女子師範学校付属国民学校 青山国民学校が小平に学童疎開。
1945	昭和20	8月15日 終戦。 終戦直後、赤痢発生。児童30数名が昭和病院に収容され、数名の二小の児童の生命が失われた。戦時教材の削除。(黒塗り教科書)翌年、農地改革実施。	3月10日 東京大空襲。 4月13日 東京西部空襲。 8月15日 終戦。
1947	昭和22	4月1日 東京都北多摩郡小平町立小平第二小学校と改称、高等科廃止。	日本国憲法施行。4月 教育基本法が制定。6・3・3制。小平青年学校を廃止。小平中学校(現小平一中)開校。 西武拝島線開通。小平・本小平駅統合。
1949	昭和24	4月1日 学級数増加に伴い、二部授業実施。	朝鮮動乱。
1950	昭和25	4月1日 学級数増加に伴い、二部授業実施。野中の分教場を分校と称する。 4月16日 教育振興会解散式。PTA結成総会。(会長 吉田艸葉氏。) 9月1日 第一次校庭拡張。(1328坪) 二小の二部授業が訴えられる。	朝鮮動乱。
1951	昭和26	2月10日 南向き木造平屋校舎二棟増築、落成。	
1952	昭和27	7月 小平公民館主催町内小学生野球大会が公民館グラウンドにて開催。二小優勝。 9月 第二次校庭拡張。(715坪)	11月 小平町教育委員会設置。
1954	昭和29	1月16日 開校25周年記念式典挙行。	東小平駅廃止され、小平駅に統合。多摩湖線東国分寺駅廃止。
1956	昭和31	4月1日 前年に引き続き、二部授業実施。 11月22日(26日?) 野中新田善左衛門組30番地(現在の花小金井6丁目30番地)に分校(現在の五小)落成。児童入校式を行う。	神武景気設備投資好調。
1957	昭和32	4月1日 小平第五小学校新設により児童移籍(花小金井・鈴木2丁目)、分校廃止。	分校が小平公民館分館になる。
1958	昭和33	4月1日 町内五校合同新築移築校舎落成式。(於 一小分校) 9月 狩野川台風及びその後の長雨で校舎に被害。 12月18日 モルタル2階建校舎落成(現北校舎位置)。同時に創立30周年校舎増築落成記念準備委員会結成。小平町立学校では一中に次ぎ、第2番目の山葉(ヤマハ)グランドピアノG3号一台、山葉オルガン2台を30周年校舎増築記念として学校に寄付。	10月 文部省 小中学校の学習指導要領を告示。 日立製作所武蔵工場設立。
1959	昭和34	2月6日 開校30周年記念式典。 4月10日 天皇陛下ご成婚、学校休業。 10月9日 モルタル2階建て校舎落成(6教室・現体育館位置)	ブリジストンタイヤ東京工場設立。
1961	昭和36	3月5日 新校歌制定。(作詞古関吉雄 作曲岡本敏明)制定。 4月8日 学級数増加に伴い、分教場を野中新田の公民館分館(現武道館)に設置。4学年の3学級を移動。 6月5日 校旗制定。(鈴木重雄氏寄贈) 10月1日 小平第二小学校分校創設。 11月2日 上棟式。	私費負担に対する禁止条令。
1962	昭和37	1月10日 分校開校式挙行。(現小平第七小学校 大沼町1丁目149番地) 分教場廃止。 1月18日 特殊学級開設 若草学級と称する。小平最初の身障学級。2学級16名。 4月1日 分校が第七小学校として独立、660名児童移籍。 5月21日 みどりのおばさん設置。 10月1日 小平市制施行に伴い「東京都小平市立小平第二小学校」と改称。 学校所在地名称・小平市仲町310番地 に変更。	市制施行。 6月 シルバー精工ができる。 7月 小平第六小学校に町立学校初めての学校プールができる。 9月 萩山-小川間営業開始
1963	昭和38	4月1日 一中特殊学級(新設)に教室貸与。新入生に教科書の無償配布を行う。 12月7日 給食調理室完成。清祓式。 12月13日(又は15日) 学校給食開始。(B型 月・火・木・金曜日の週4日間)	都立小平高校・錦城高校開校。 9月 ボーイスカウト小平隊発足。 12月 小平郵便局開業。
1964	昭和39	この年、レクリエーションとしての油壺バス旅行、年に一度のバザーなどがPTAで行われる。	5月 なみき幼稚園開園。東京五輪。シルバー編機製造が建設。
1965	昭和40	3月31日 小平第九小学校新設に伴い児童移籍。(鈴木町、天神町の一部103名。) 同日、一中特殊学級本校へ移転。 4月1日 5年生まで教科書無償配布。	小平団地完成。 一中に市内初の体育館が完成。 いざなぎ景気。
1966	昭和41	3月26日～4月5日 平屋校舎(若草校舎)、運動場西部に移転工事。(特殊学級用) 5月2日 学校給食A型実施。(水曜日も給食となる。) 5月13日～10月16日 南校舎(鉄筋コンクリート3階建)東半部工事。 6月24日 全校舎市営水道に切り替え。 7月6日 授業終始合図をチャイム放送とする。 9月5日 学校給食は一部学年が生牛乳使用。 11月14日 南校舎使用開始。(普通教室6、音楽室1、理科室1) 12月25日 現用務員自宅より通勤勤務となり、用務員宿舍廃止。	1966年(昭和41年)6月30日 - 一橋大学駅と小平学園駅を統合し、一橋学園駅が開業。 3C(カラーテレビ・カー・クーラー)が「新三種の神器」。
1967	昭和42	3月31日 校地西・南・北側万年塀の設置工事完了。 4月1日～4月30日 西校舎南部3教室(L字型の西側南部)及び、用務員宿舍撤去工事。 10月1日(8日?)NHK音楽コンクール(合奏)東京地区コンクールにて最優秀校となる。 11月1日(3日?)南校舎(鉄筋コンクリート3階建て)西半部増築工事着工。清本建設KK	7月 夏休みの児童文庫を創設。小平公民館が児童図書を貸し出した。 十一小、私立創価中学・高校開校。

年号	元号	小平二小に関わる記事	世の中の様子
1968	昭和43	3月31日 ブロック製体育倉庫工事完了。 5月11日 南校舎西半部落成。使用開始。南校舎建設にあたり、道路側の大銀杏伐採。 5月31日 国旗掲揚塔移転・塗装・花壇前の金網完成。 7月 二小校内広報誌、ひまわり第1号発刊。 8月30日 40周年を記念して同窓会発足。 11月 音楽クラブ多摩地区代表として、東京都中央音楽大会に出場。 11月17日 開校40周年記念式典校庭にて挙行。シルバー精工大食堂にて祝賀会開催。	十二小・十三小開校。 12月 市内初の10階建て小平駅南口ビル完成。
1969	昭和44	3月 校地西側(通用門より北部分)拡張。(500坪)・プレハブ建設。(6教室。44年度1学期間は小平14小学校が使用。) 4月 二小保育クラブ開始。 5月15日 小平第十四小学校新設に伴い児童移籍(307名)。 この年・・・二小音頭が作られた。(作詞:昭和43年度卒業生 作曲:佐伯寿一(音楽専任))	十四小・十五小開校。八ヶ岳山荘開設。小平警察署開設。 この年か翌年、野中の分教場に使用されていた建物(公民館分館として使用されていたもの)が撤去。
1970	昭和45	3月26日 昭和4年建築校舎6教室撤去。若草教室移転。 7月 プール完成。	5月 鈴木囃子が無形民俗文化財に指定。12月 八小校庭遺跡。
1971	昭和46	1月8日 プールのための脱衣場 及び便所新設工事。 3月10日 46年度学級数増に備え、プレハブ3教室を校庭に増設。 10月5日 北校舎(鉄筋コンクリート4階建て)西半部工事着工。大銀杏2本伐採。 青梅街道信号機設置に伴い、交通擁護員廃止。	あかしあ通り完成開通。 5月 仲町第二児童遊園開園。 7月 萩山公園プール開園。
1972	昭和47	3月27日 北校舎(鉄筋コンクリート4階建て)西半部落成。(11教室・家庭科室・図書室) 4月 北校舎(鉄筋コンクリート4階建て)使用開始。 8月17日 北校舎(鉄筋コンクリート4階建て)東半部着工。木造平屋4教室、2階建7教室取り壊し開始。	5月15日 沖縄返還につき午前授業。
1973	昭和48	3月31日 北校舎(鉄筋コンクリート4階建て)東半部完成。(11教室・音楽室・理科室・若草3教室。プレハブ教室用洗手飲所完成。) 7月16日 南校舎防音改築工事のため、2年全学級北端木造校舎へ。4年2学級・職員集会室も共にプレハブへ。校長室・事務室は旧若草木造校舎へ引越す。 12月1日 北校舎、温風暖房使用開始。(南校舎は昭和49年から。)	JR武蔵野線開通。 オイルショック。
1974	昭和49	2月22日 南校舎防音改築工事完成。 2月25日 第3校舎取り壊し。 3月20～24日 若草木造校舎取り壊し、整地作業。 5月5日 体育館工事開始。 10月 保健指導及び保健統計事務の優秀校で東京都唯一の文部大臣賞受賞。 10月31日 体育館完成。正門・体育館用・通用門・校庭東側・西側フェンス完成。 11月7日 体育館落成式。(総工費6900万円) 11月 完成したばかりの体育館で学芸会。 11月25日 温風暖房ボイラー整備、試運転。	5月25日 あじさい公園開園。 6月 鈴木遺跡の発掘調査が開始される この年・・・第一屋製パン設立
1975	昭和50	2月11日 校舎完成等祝賀会。(同窓会主催。二小体育館において。) 4月1日 重度児学級2学級認可。重度補正1担任増える。	3月 小平市図書館(現仲町図書館)開館。翌年むさしが丘学園開園。
1977	昭和52	3月31日 学園東小学校新設 児童移籍(学園東町・仲町の一部 474名) 9月30日 言語障害学級改造完了。	7月 天神町いなげや開店。
1978	昭和53	10月1日 開校五十周年記念大運動会。(全校児童「二小音頭」・地区別対抗リレー) 10月6日 ことばの教室開級式。(小平市で初の言語障害学級) 10月24日 二小全景航空写真撮影。 11月4日 開校50周年記念式典挙行。50周年記念碑建立除幕式。 11月25～26日 開校50周年記念学芸会。	4月4日 たけのこ児童遊園開園。 8月 日中平和友好条約調印。
1979	昭和54	1月17日～20日 開校五十周年記念記念展。 3月12日 岩石学習園完成・開園式。 3月20日 50周年記念誌「文奮」完成。	翌年にかけての工事で回田通りの天井川がなくなる。
1980	昭和55	6月27日 プール改装工事完了。 8月22日 給食回転釜設置工事。	7月18日 二小北公園開園。
1981	昭和56	2月16日 耐火倉庫(階段下)工事。	4月 天神町Jマート開業。 10月1日 中央公園グラウンド開園。
1982	昭和57	4月12日 第2学年、児童数増につき4学級編成にする。 11月 青少対発足。12月 第一回青少対だより発行。南校舎昇降口・南北通路設置工事。	3月5日 500円玉登場。 9月 「好樹」脇の道路開通。
1983	昭和58	1月16日 小平市道第D-24号線(回田通)拡幅のため、小平二小敷地内工事開始。体育館東側・給油門・正門などが削られる。 3月25日 小平市道第D-24号線拡幅のための本校内工事終了。体育館北側、給食室北側、北校舎北側舗装工事終了。正門完成。門標は第12代校長、石垣安義氏揮毫。 4月20日 4年、6年、児童数増加により、4学級編成にする。 8月30日 南校舎前花壇補修工事完了。(れんが2段積み 東端2箇所) 9月21日 南校舎前防球ネット・校庭南東隅に簡易便所設置工事完了。	2月 市役所新庁舎、現在地に移転。
1984	昭和59	1月30日 運動場南側 防球ネット工事完了。	4月 仲町公民館開館。
1985	昭和60	3月23日 理科観察池完成。	1月21日 東部公園開園。
1986	昭和61	1月10日 飼育舎、物置小屋完成。 1月 この年からマラソン大会が始まった。	4月 天神地域センター開館。
1987	昭和62	3月7日 若草学級教室前 藤棚(鉄パイプ)完成。 4月18日 投板完成。(市教委施設係施行) 7月1日 異常渇水による都の取水制限対策を受け、プール使用を中止。 8月26日 南校舎及び給食室天井のアスベスト撤去工事完了。 9月17日 元首相岸信介氏内閣葬儀 半旗掲揚。	4月 国鉄民営化。 6月までに 校門前の文房具店、「たからや」閉店。
1988	昭和63	6月4日 60周年記念式典挙行。 6月28日 陶芸釜設置。	4月1日 あげぼのパン(株)設立。 緑川に蓋がされる。
1989	昭和64 平成元	1月 市内少年少女サッカー大会で二小大活躍。 2月24日 大喪の礼で休日。	熊野宮参道舗装。 4月 学園東町地域センター開館。
1990	平成2	9月 ベルマークで98000点で校庭西側鉄棒の逆上がり補助器購入。 11月12日 平成天皇即位の礼で休日。	
1991	平成3	7月 プールの大規模改修。	

年号	元号	小平二小に関わる記事	世の中の様子
1992	平成4	4月 低学年に「生活科」導入。9月 第2土曜日が休業日に変更。	
1993	平成5	6月9日 皇太子・雅子様ご結婚の儀につき、休日。 12月22日 石灰倉庫完成。この年・・・南校舎に学級教室がなくなる。	5月15日 Jリーグ誕生 この年・・・小平市民文化会館完成
1995	平成7	1月17日の阪神淡路大震災。ベルマーク25969点を神戸市立五位の池小学校に寄贈。 4月 第4土曜日も休日となった。 6年生の働きかけにより、この年から特別養護老人ホームまりも園との交流開始。この年、5回訪問。各回20名以上。平成13年2月まで年5～6回のペースで訪問は続いた。 6月 リサイクルに活用する「材料銀行」が南校舎3階に開設。	1月17日 阪神淡路大震災 この年・・・ふれあい下水道館開館。
1996	平成8	4月 ボランティア協力校の指定を受ける。	
1997	平成9	3月31日 小平市立小平第五小学校に身障学級開設に伴い、9名五小さくら学級に転出。 4月 ランチルーム新設。 この年、あるいは翌年・・・「20分休み」が「中休み」と改称。	
1998	平成10	1月28日 市教委主催卓球大会で二小優勝。 5月1日 学校だより 題字新題字に変更。 7月10日～11日 第一回青少対主催校庭キャンプ 10月17日 開校70周年創立125年記念式典・祝賀会（同窓会主催） 11月13日 飼育小屋完成。（市教委大工さん作成。）	2月 冬季長野オリンピック。 3月17日 小平駅の南・北口エレベーター使用開始。 10月 セブンイレブン小平仲町東店開店。
1999	平成11	9月 パソコン室完成。 10月23日 青少対&PTA合同スポーツ大会	8月13日 国旗及び国歌に関する法律制定
2000	平成12	7月21日～平成13年2月 耐震補強工事。 平成12年・13年文部科学省生徒指導総合連携推進事業指定校。（小平市すこやかコミュニティプロジェクト）平成12年度特色ある教育活動推進校。	
2001	平成13	2月16日 高齢者交流室開所式。体育館にて歓迎集会開催。 4月 1・2限の間、3・4限の間のチャイム撤廃。 10月 ビオトープの森づくり企画開始。4年生が設計アイデアをまとめる。 平成12年・13年文部科学省生徒指導総合連携推進事業指定校。 この年・・・総合の時間の縦割り活動として「作って遊ぼう」発足。ニ子合唱団設立。少人数算数教室できる。学校公開週間開始。特色ある教育活動推進校。	6月 附属池田小児童殺傷事件。
2002	平成14	3月 ビオトープ作り初日。子どもたちにも手伝ってもらい、観察路を整備。 学習指導要領の全面改正。（完全学校週5日制の実施・「総合的な学習の時間」の新設・「絶対評価」の導入）学童農園開始。 4月 学校週5日制完全実施。 7月6・13・14日 ビオトープ池作り。 夏期休業中、赤水対策工事&パソコンルームリニューアル。20台導入。 平成14年度 文部科学省指定豊かな体験学習指定校。	
2003	平成15	ランチルームが南校舎2階端に移動。 4月 この年から青少対フリーマーケット開始。 5月 校内禁煙となる。 この年から二小よさこい発足。	
2004	平成16	6月14日 から登校時間が5分早くなり、登校時間8:10～20となる。 この年、小平市教育委員会研究協力校となり『家庭や地域の連携で進める教育活動の創造』について研究発表。 11月19日 研究発表会。「家庭や地域との連携で進める教育の創造」 1学期、石島用務主事と子供たちで校庭南西側に堆肥置き場を作成。 この年・・・3月の卒業アルバムより、住所入り名簿が撤廃。わくわく科学実験教室開始。	3月 拓殖大学付属第一高等学校、花小金井駅前より玉川上水に移転。（小平ふ2P169）
2005	平成17	4月 教頭から副校長へ呼称変更。個人情報保護法施行。 東京都人権尊重教育推進校指定。 7月23～24日 防災お泊り体験。 10月1日 運動会はこの年から三色対抗。（紅・白・青） 小平二小クリーン大作戦はこの年から始まる。 11月18～19日 学習発表会。（従来の学芸会から変更。） 11月30～12月5日 機械室天井のアスベスト除去工事。 12月23日～学童保育移設工事。ポプラ伐採、遊具移設、社会体育倉庫新設。 この年・・・交流室との給食交流開始。兄弟学年交流開始。ALTによる英語活動開始。教育相談室開室。朝学習、朝読書、インターネット子ども教室開始。	
2006	平成18	1月 図書ボランティア主導により、図書バーコード管理施行。図書室内PC設置。 18年度より 地区班別一斉下校訓練が開始。 3月29日より学童保育が、体育館の教室から、校庭南端に移設。 8月 防犯ビデオカメラ設置。この年・・・鍋給食開始。インターネット子ども教室開始。	3月 新小金井街道開通。（青梅街道ー東京街道区間） あかしあ通り学園東町3丁目の歩道橋が撤去。
2007	平成19	4月 組織的な能動型学校支援ボランティアへ。 4月 小学校巡回警備事業「スクールガード」開始。警備員が午前・午後の2階校地内外を巡回警備。年間35日のスクールカウンセラー設置。（従来は大学院生が日替わり相談。） 6月上旬 電子連絡網Nikoメール開設。 夏休みに児童と職員で校庭西側体育倉庫北に「タイヤランド」創設。体育倉庫壁面に「アニマルタッチ」を6年生が描く。夏休み中、校庭改修工事。	
2008	平成20	2月 校庭南側の万年塀撤去、フェンスに変更。 4月 にこにこ子ども教室開始。 6月 見守りシステム「キッズバス」導入（有志・有料） 6月27日 開校80周年記念児童集会・風船飛ばし。 8月 FF暖房設置工事。 9月 ビオトープ改修工事。 10月25日 開校80周年記念式典・祝賀会。（体育館にて。） 12月26日 校庭南側に同窓会寄贈のブルーベリーを10本植樹。	8月 天神町Jマート閉店。

— 参考文献 —

学内資料：・40周年記念誌 ・50周年記念誌「文奮」 ・60周年記念誌 ・70周年記念誌 ・卒業アルバム ・各種沿革資料 ・学内広報誌「ひまわり」校報 ・50周年石碑裏 ・学校要覧 ・学事報告 ・昭和30年代校舎平面図(1/300)
学外資料：◎御用留内容目録Ⅰ大沼田新田 ◎野中新田与右衛門組諸家文書目録 ◎齊藤家文書目録 ◎小平市教育史年表第一集 ◎小平事始め年表 索引稿 ◎としよかんこどもきょうどしりょう ◎小平第二小学校沿革誌資料集(明治6年～昭和42年) (◎は全て小平市中央図書館編)
・小平町誌(小平町)・小平市三〇年史(大日本印刷株式会社CDC事業部年史センター編)・社寺名簿(小平市中央図書館所蔵)・文奮学校校費精算簿・学制百年史(文部省編)・郷土こだいら(郷土こだいら編集委員会編)・小平ふるさと物語(1)(2)(小平ふるさと物語部会)・小平ちよっと昔(小平民話の会編)・わたしたちの小平市(小平市教育委員会)・私たちの小平(中学生副読本 小平市教育委員会)・こだいらのあそび(小平市青少年委員の会議編 小平市教育委員会編)・ききがき そのとき小平では 全8冊(小平・ききがきの会編)・用水路昔語り 第1集～第3集(こだいら水と緑の会編)・古文書に見る小平の水 玉川上水と分水(小平郷土研究会編集)・三小百周年記念誌「桜蔭」(小平第三小学校編)・市民便利帳(小平市)・目で見る国分寺・国立・小金井・小平の100年<郷土出版社)・西武グループの歴史HP

— 調査協力・写真提供 —

調査協力：・円成院 ・延命寺 ・小平市企画制作部参事 蛭田廣一 ・日本ボーイスカウト東京連盟小平第一団 ・今井美代子
写真提供：・国土地理院 ・(株)フォトスタッフ ・古市祇 ◇… 喜平図書館所蔵 *… 飯山達雄氏撮影 喜平図書館所蔵

— 表紙・裏表紙デザインイラスト —

木造校舎のイラストを描きながらもう一度あの頃の教室に帰ってきました。

ふたの開く木の机、裸足で駆け回った校庭、雨上がりの中庭、風できらめく水溜り、教室の天井で光の追いかけて、立て付けの悪い硝子窓の隙間から香る金木犀、ストーブで燃やす石炭の匂い

目を閉じるといろんな情景(絵)が見えてきました。

Paint 工房 長谷川宏一 記

— IT部門協力 —

80周年を迎えた二小の子供達に楽しい思い出を残すお手伝いが出来れば…との思いから、80's 周年行事委員会にて微力ながらお手伝いをさせて頂きました。

このような貴重な機会を与えて下さった皆さまに心より感謝申し上げます。有り難うございました。

50周年の在校生として、感謝と恩返しのお気持ちを込めて。

昭和54年卒業 並木久和

— 寄贈品 —

「80周年記念特設看板」 80周年記念事業実行委員会より

「国土地理院空撮画像データ」 80周年記念事業実行委員会より

「ブルーベリー10本」 小平第二小学校同窓会より

「スチール書棚」 PTAより(ベルマーク151,211点にて購入)



80周年を記念し二小ホームページ内に80周年特設サイトを開設しました

— 編集後記 —

記念史誌を執筆するにあたり、アンケートやインタビューに約150名の卒業生の方に、色あせない思い出や、今の二小が存在する重みをうかがいました。

136年前から何も変わらないこと、それは笑顔でした。現在二小に通う子供たちの笑顔が絶えないのは、卒業生の皆様が今でも二小を大切に思い、支えてくれているからだと感じました。

大切な気持ちや、貴重な資料、写真などを提供していただき、ご協力いただいたことに深く御礼申し上げるとともに、喜びあふれる一年になったことを感謝いたします。

この記念史誌を手に取り、小平第二小学校への思い出とともに、これからも子供たちの笑顔を見守っていただくことが私たちの願いです。

80'sリーダー 石橋 真純

文奮 小平第二小学校記念史誌
2009年 1月 8日 発行
編集：80's (PTA周年行事委員会)
発行：80周年記念事業実行委員会
連絡先：小平第二小学校
印刷：社会福祉法人 東京コロニー



思い出いっぱい 夢いっぱい

笑顔いっぱい いつまでも